

次期舞踊芸術監督 大原永子	2
<hr/>	
2014/2015シーズン バレエ ラインアップ	5
眠れる森の美女 新制作	6
シンデレラ.....	10
ラ・バヤデール	14
トリプル・ビル テーマとヴァリエーション／ドゥエンデ／トロイ・ゲーム 新制作 ...	18
こうもり	22
白鳥の湖	26
<hr/>	
平成 26 年度公演	30
平成 26 年度 新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 しらゆき姫	31
平成 26 年度 地域招聘公演 樋笠バレエ団 グラスノフ生誕 150 周年記念公演 (仮題) ...	32
<hr/>	
2014/2015シーズン ダンス ラインアップ	35
JAPON dance project	36
新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future ～Third Steps～ NBJ Choreographic Group	40
ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2015	42
森山開次「サーカス」.....	44
<hr/>	
公演一覧 (1997.10 ～2014.6)	46

舞台写真撮影：瀬戸秀美／鹿摩隆司

・本資料に掲載しているチケット料金は、消費税率 8% での金額です。

・2014/2015 シーズンセット券は 2014 年 2 月 28 日までのアトレ会員優先受付にお申込みいただき、3 月 31 日までに決済が完了した場合、消費税率 5% の料金でお買い求めいただけます。

※ 2014 年 3 月 31 日まで（一般先行受付期間中）にお申込みいただいても、アトレ会員優先受付以外のお申し込みは 4 月 1 日以降の決済となりますので、消費税 8% を申し受けます。予めご了承ください。

2014/2015シーズン バレエ・ダンス



次期舞踊芸術監督

大原永子

Ohara Noriko

2014/2015シーズンより新国立劇場舞踊芸術監督の任につかせていただくにあたり、その重責に身の引き締まる思いしております。

新国立劇場バレエ団は、歴代の舞踊芸術監督の信念と指導のもと大きく発展してきました。私自身、1999年から当バレエ団のバレエミストレスとして、2010年からは監督補として、その成長を目の当たりにしており、非常に頼もしく、嬉しく思っております。これまでの蓄積を大切にしながら、私が舞台上で積み重ねた経験をダンサーたちに伝承することで、新国立劇場バレエ団のさらなる飛躍に貢献してまいりたいと思います。

私の芸術監督としての最初のシーズンは、新制作の全幕バレエ『眠れる森の美女』で幕を開けます。これは新国立劇場バレエ団のために新制作されるもので、演出はウエイン・イーグリング。ロイヤル・バレエの元プリンシパルであり、オランダ国立バレエ、イングリッシュ・ナショナル・バレエの芸術監督を歴任。現在は国際的な振付家として高く評価されています。素晴らしい作品になることを確信しており、この大作が新国立劇場バレエ団のレパートリーに新たに加わることを大変嬉しく思います。

そして、クリスマスには不朽の名作アシュトン版『シンデレラ』、待望の再演である牧阿佐美版『ラ・バヤデー』、またバランシンの『テーマとヴァリエーション』、ナチョ・ドゥアトの『ドゥエンデ』、ロバート・ノースの『トロイ・ゲーム』で構成される「トリプル・ビル」、ローラン・プティの『こうもり』と続き、牧阿佐美改訂版『白鳥の湖』でシーズンを締めくくります。

ダンスでは、新国立劇場ならではの創造性あふれる4公演をお届けします。現在、世界中のバレエ団にとって、コンテンポラリー作品は「ダンスの今」に触れるという意味でも、重要なものです。今シーズンにも新国立劇場バレエ団ダンサーの振付による新しいダンス作品を披露する「Third Steps」を企画しており、彼らの作品の水準、想像力と挑戦をぜひご覧いただきたいと思っております。

日本には独自のダンスの歴史があります。そしてダンスの現在は、スタイルも多様性に富んでいます。私はダンスはその時代の空気を感じ、常に発展していくものと考えます。新しい魂が生まれる瞬間をみなさまと分かち合いたいと思っております。

感動と興奮をお届けしながら、新たな試みをご紹介できる新国立劇場のバレエ、ダンスでありたいと願っています。ぜひ、劇場へ足をお運びください。

〈プロフィール〉

橘秋子、牧阿佐美、アレクサンドラ・ダニロワ、イゴール・シュベツォフに師事。橘バレエ学校を卒業後、橘バレエ団を経て1956年、牧阿佐美バレエ団結成と同時に入団。62年に『白鳥の湖』の主演に抜擢され、以後同団のプリマ・バレリーナとして古典、創作を問わず数多くの作品に主演する。71年にアメリカに留学し、74年に渡英。ニューロンドンバレエからロンドン・フェスティバル・バレエ、さらにスコティッシュ・バレエへと移籍。77年、スイスのバーゼル・バレエに一時在籍した後、78年に再びスコティッシュ・バレエに戻り、96年までプリンシパル・ダンサーとして活躍。72年舞踊批評家協会賞、82年芸術選奨文部大臣賞、91年服部智恵子賞を受賞。95年よりスコティッシュ・バレエでコーチを務める。97年には大英勲章(OBE)を日本人アーティストとして初めて授与された。

2004年紫綬褒章受章。12年橘秋子賞特別賞受賞。1999年より新国立劇場バレエ団のバレエ・ミストレスを務め、2010年に同団の監督補に就任。12年9月から新国立劇場舞踊芸術参与。14年から新国立劇場舞踊芸術監督に就任予定。

■ 芸術監督の任期(予定)：平成26(2014)年9月1日～平成30(2018)年8月31日

BALLET

| *Lineup* |

2014/2015 シーズン バレエ ラインアップ

〈新制作2作品/レパートリー6作品 計6演目32公演〉

2014.11

眠れる森の美女 **新制作**

6回公演

2014.12

シンデレラ

7回公演

2015.2

ラ・バヤデール

4回公演

2015.3

トリプル・ビル

テーマとヴァリエーション/ドゥエンデ/トロイ・ゲーム **新制作**

5回公演

2015.4

こうもり

5回公演

2015.6

白鳥の湖

5回公演

眠れる森の美女

2014.11/8 ~ 16

新制作
New production

The Sleeping Beauty

オペラハウス | 6回公演

●前売開始：2014年 7/26 (土)

2014.11/8 (土) 2:00・9 (日) 2:00・11 (火) 6:30・13 (木) 2:00・15 (土) 2:00・16 (日) 2:00

●料金 S:16,200円 A:12,960円 B:8,640円 C:6,480円 D:3,240円

大原永子が芸術監督に就任する 2014/2015 シーズンは、開幕作品として古典の名作『眠れる森の美女』を新制作します。

『眠れる森の美女』は、新国立劇場の開場記念公演(バレエ)として、1997年秋に、ロシアのマリインスキー劇場からの協力を仰ぎ上演した記念碑的作品です。

今回、大原永子の舞踊芸術監督就任にあたり、新国立劇場バレエ団のオリジナル版を新たに制作いたします。演出に当たるのは、英国ロイヤル・バレエの元プリンシパルで、オランダ国立バレエやイングリッシュ・ナショナル・バレエで芸術監督を務めた、ウエイン・イーグリング。振付家として国際的に高い評価を得ているイーグリングが、新国立劇場のためにオリジナリティ溢れる舞台を演出します。新国立劇場オリジナル版で、グランドバレエの醍醐味を味わっていただける豪華絢爛で美しい舞台をご堪能ください。

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー Music: Pyotr Ilyich Tchaikovsky
振付：マリウス・プティパ Choreography: Marius Petipa
演出・改訂振付：ウエイン・イーグリング Production: Wayne Eagling
装置：川口直次 Scenery: Kawaguchi Naoji
衣裳：トウル・ヴァン・シャイク Costumes: Toer van Schayk
照明：沢田祐二 Lighting: Sawada Yuji
指揮：ギャヴィン・サザーランド Conductor: Gavin Sutherland
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

ものがたり

オーロラ姫の誕生を祝う命名式。妖精たちが祝福するなか、招待されなかったことを怒った悪の精カラボスは、「姫は糸紡ぎの針に指を刺されて死ぬ」という呪いをかける。そして16歳の誕生日、姫は針に刺され、長い眠りにつく。100年後、リラの精に導かれた王子の接吻で姫は目覚め、壮麗な結婚式が開かれる。



photo by 若子jet

眠れる森の美女

The Sleeping Beauty

振付：マリウス・プティパ (1818～1910)

Choreography: Marius Petipa

1818年フランス・マルセイユ生まれ。舞踊家、舞踊教師、振付家。13歳のときに父の作品で舞台デビューを果たし、47年にサンクトペテルブルグの帝室ボリショイ劇場に招かれた。55年からは父の後任として、劇場附属バレエ学校で、踊りと得意としていたマイムの教師を兼任している。62年に振り付けた『ファラオの娘』が大成功し、副バレエマスターに就任。69年にはサン＝レオンが退任したため、首席バレエマスターとなる。以後『ドン・キホーテ』(69年)、『ラ・バヤデール』(77年)、『眠れる森の美女』(90年)、『白鳥の湖』(95年、イワーノフと共作)、『ライモンダ』(98年)など、数々の傑作を残しロシア・バレエの伝統を確立した。1903年初演の『魔法の鏡』に至るまで、改訂振付を加えれば70以上の作品を振り付けている。10年、クリミア地方グルズフにて死去。



演出・改訂振付：ウエイン・イーグリング

Production: Wayne Eagling

カナダのモントリオール生まれ。ロンドンのロイヤル・バレエ学校で学び、卒業後1969年に同バレエ団に入団。72年にソリストに、75年にはプリンシパル・ダンサーに昇進。ロイヤル・バレエのレパートリーのうち、主たる古典的な役の全てを踊り、マクミラン、アシントン、バランシン、ロビンス、ハンス・ファン・マーネン、ノイマイヤー、ヌレエフ、ピントレーといった振付家の作品に出演した。ロイヤル・バレエ・スクールの為に『R.B.Sque』(83年)、コヴェント・ガーデンでのロイヤル・バレエ公演に『フランケンシュタイン』、現代のプロメテウス(85年、オランダ国立バレエ、スカラ座でも上演)、『美女と野獣』(96年)を創作。89年、ベルリンの壁崩壊の際には『ウォール・コンサート』の振付を、またポップ・グループ、クイーンのビデオ『ブレイク・フリー(自由への旅立ち)』の振付を担当した。オランダ国立バレエのための振付作品としては、『Ruins of Time』(93年)、『波のシンフォニー』(94年)、『デュエット』(95年)、『Lost Touch』(95年)、『Holding a Balance』(96年)、『くるみ割り人形とねずみの王様』(96年、トゥール・ヴァン・シャイクと共に振付を担当。フィンランド国立バレエでも上演)、『魔笛』(98年)、『春の祭典』(2000年)などがある。そのほかには、『アルマ・マラー』(1994年、ミラノ・スカラ座)、『ラスト・エンペラー』(97年、香港バレエ団)、『メアリー・スチュアート』(2004年、ローマ・オペラ座)、『タイス』(05年、ローマ・オペラ座)、『美女と野獣』(12年、クレムリン・バレエ団)を創作。2005年から12年までロンドンのイングリッシュ・ナショナル・バレエの芸術監督を務め、『レゾリューション』(08年)、『Men Y Men』(09年)、『くるみ割り人形』(10年)、『遊戯』(12年)の振付を行っている。

装置：川口直次

Scenery: Kawaguchi Naoji

1962年日本放送協会に入局。大河ドラマなどテレビドラマの美術で活躍するかたわら、オペラ・バレエ・演劇などの舞台美術を数多く手がける。77年伊藤薫賞受賞。83年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。日本放送協会を退職後、武蔵野美術大学で、舞台美術、映像美術の教育に携わる。新国立劇場では、バレエ『パキータ』『こどものためのバレエ劇場 シンデレラ』、オペラ『セビリアの理髪師』『トスカ』『こうもり』の美術を手がけた。バレエの代表作としては、『新 白鳥の湖』『ロミオとジュリエット』(松山バレエ団)、『ドン・キホーテ』(牧阿佐美バレエ団)など。近年手がけたオペラ作品としては『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』(名古屋二期会)、新作オペラ『いのち』(長崎県オペラ協会公演)などがある。オペラ、バレエのほかに演劇や映画の美術を多数手がけており、代表的な映画作品に伊丹十三監督作品『静かな生活』『スーパーの女』『マルタイの女』がある。武蔵野美術大学名誉教授。



眠れる森の美女

The Sleeping Beauty

衣装：トゥール・ヴァン・シャイク

Costumes: Toer van Schayk

アムステルダム生まれ。1955～59年までネザーランド・バレエで踊るが、ハーグ王立芸術アカデミーにて彫刻を学ぶために一時、ダンサーとしてのキャリアを中断する。65年にダンスの世界に戻り、オランダ国立バレエでソリストとして活躍。71年に振付家としてデビュー。76年、オランダ国立バレエの常任振付家に指名され、30を超えるバレエ作品を創作。作品は、世界的なバレエ団でレパートリーとして上演されている。また、著名なビジュアル・アーティストでもあり、世界各地で展覧会を開催している。96年に『くるみ割り人形とねずみの王様』の舞台美術と衣装をデザインして賞賛を浴びる。ウエイン・イーグリングと共に振付も担当し、本作品はヘルシンキとワルシャワで上演された。99年、再びこのコラボレーションでノーカット版バレエ『魔笛』を創作。同年、演出家ヨープ・ファン・デン・エンデによる、ミュージカル『エリザベト』の振付を担当。2003年、フレデリック・アシウトンの『シンデレラ』新制作の際は、舞台美術デザイナーとして英国ロイヤル・バレエでのデビューを果たした。また、『ロミオとジュリエット』、オランダ国立バレエ『ジゼル』(09年)の舞台美術デザインを担当した。11年、振付家および舞台美術・衣装デザイナーとしての業績でブノワ賞を受賞。



照明：沢田祐二

Lighting: Sawada Yuji

東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を学ぶ。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場では、バレエ『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『白鳥の湖』『ジゼル』『マノン』『カルメン』『オルフェとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『バゴダの王子』、オペラ『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇『城』『わが町』『アジア温泉』『ビッグマリオン』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』などの照明デザインも手掛けている。第1回と第10回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第1回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第33回紀伊国屋演劇賞。第1回橋秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。

指揮：ギャヴィン・サザーランド

Conductor: Gavin Sutherland

イングリッシュ・ナショナル・バレエ(ENB)の音楽監督。指揮者、作曲家、編曲家、ピアニストとして国際的に活躍している。『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『エクスタシと死』(ENB)、『アラジン』(バーミンガム・ロイヤルバレエ)で指揮。デンマークのオールボー交響楽団、ロイヤルフィルハーモニー管弦楽団と共演しており、今後は、BBC交響楽団やデンマーク王立吹奏楽団との共演も予定されている。ボーンマス交響楽団、BBCコンサートオーケストラ、ミュンヘン放送管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、オーストラリア・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ニュージーランド交響楽団、RTEコンサートオーケストラ、BBCウェルズ交響楽団、ウェリントン・シンフォニア、オークランド・フィルハーモニア、北イングランドコンサート・オーケストラ、スコットランドオペラ・オーケストラ、ヨハネスブルグ祝祭管弦楽団を定期的に指揮。また、ロイヤル・ニュージーランド・バレエのゲスト首席指揮者を務めており、ロイヤル・バレエ・シンフォニア、ノルウェー国立バレエ、南アフリカ・バレエ・シアターでも指揮。編曲家や作曲家としての活動も積極的に行っており、レイモンド・ガベイのコンサートで指揮と編曲を担当した。ミュージカル『Little Women』、クラリネット協奏曲、室内楽曲、バレエ『Revolting Rhymes』(へそまがり 昔ばなし)、チャイコフスキーの音楽を使った子供向けのバレエ2作品、ウエイン・イーグリングのバレエ作品『Men Y Men』のためにラフマニノフのピアノ曲なども編曲している。ピアニストとしては、コンサートのソリスト、伴奏、室内楽奏者として定期的に活動し、80枚を超えるCDをリリース。



シンデレラ

2014.12/14 ~ 23

レパートリー
Repertoire

Cinderella

オペラパレス | 7回公演

●前売開始：2014年 8/23 (土)

2014.12/14 (日) 2:00・18 (木) 7:00・19 (金) 2:00・20 (土) 1:00/6:00・21 (日) 2:00・23 (火・祝) 2:00

●料金 S:10,800円 A:8,640円 B:6,480円 C:4,320円 D:3,240円

『くるみ割り人形』とともに新国立劇場バレエ団のクリスマス時期のレパートリー演目として多くの観客に愛されている作品。アシュトン振付によるこの作品は、現在もシンデレラの「定番」として英国ロイヤル・バレエを始め、世界中の数多くのバレエ団によって上演されています。日本では唯一、新国立劇場バレエ団だけが上演している貴重なレパートリーです。

『ロメオとジュリエット』で知られるプロコフィエフが作曲した『シンデレラ』の音楽は、色鮮やかなメロディーとリズム感にあふれ、本作の大きな魅力の一つとなっています。豊かな四季を奏でる音楽に合わせて踊る春夏秋冬の妖精たち、時計が12時を打つと同時にシンデレラの魔法がとける瞬間の驚くような仕掛け、それに意地悪な姉妹が見せる愉快的なマイムの数々に彩られたシンデレラの物語は、誰をも幸せな気分に取りこむクリスマスシーズンに相応しいバレエ作品です。

東京公演後には、上田市交流文化芸術センター（長野県）での上演を予定しています。

音楽：セルゲイ・プロコフィエフ

Music: Sergei Prokofiev

振付：フレデリック・アシュトン

Choreography: Sir Frederick Ashton

装置・衣裳：デヴィッド・ウォーカー

Designs: David Walker

照明：沢田祐二

Lighting: Sawada Yuji

指揮：マーティン・イエーツ

Conductor: Martin Yates

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

ものがたり

意地悪な義理の姉二人は、王子から招かれた舞踏会に行く準備に余念がない。シンデレラをかばう父親をはねのけて、彼女を召使いのようにこき使う。今は亡き母を慕って悲しむシンデレラの前に仙女が現れ、魔法の一振りでカボチャは立派な馬車に、シンデレラのみすぼらしい服は輝くばかりのドレスに変わる。



2012年公演より

シンデレラ

Cinderella

振付：フレデリック・アシュトン

Choreography: Sir Frederick Ashton

「バレエのシェイクスピア」と称された叙情性とユーモアに溢れた作風を持つ。20世紀の真の巨匠ともいべきロイヤルバレエの振付家で、名キャラクター・ダンサーでもあった。1904年南米エクアドル生まれの英国人で少年時代にアンナ・パヴロワの舞台を観てバレエを志す。英国に戻って学業を終えた後、レオニード・マシーンに入門。さらにマリー・ランベール他著名な教師に師事して、種々の舞台に立つ。その一方で、26年には振付家としての処女作『ファッションの悲劇』を発表する。28年にはパリのイダルピンスタインの舞踊団にダンサーとして参加し、プロニスラヴァ・ニジンスカの作風から大きな影響を受ける。翌29年ロンドンに戻り、本格的な創作活動を開始。35年に英国ロイヤルバレエの前身ヴィック・ウェルズ・バレエにダンサー兼振付家として招かれる。同時期に入団しやがて英国最高のバレリーナに成長するマーゴ・フォンテインに多くの新作を振り付け、バレエ団発展の原動力となるとともに、英国バレエ独自の気風を確立した。63年には設立者ニネット・ド・ヴァロワの後を継いで芸術監督に就任。70年の退任後も80年代半ばまで創作を続け、88年に英国サセックスにて永眠。代表作に初の全幕バレエ『シンデレラ』、マーゴ・フォンテインのための『オンディーヌ』、一幕の物語作品『真夏の夜の夢』『田園の出来事』、抽象バレエの『シンフォニック・ヴァリエーションズ』『ラ・ヴァルス』、映画ではハリネズミを自演した『ピーター・ラビットと仲間たち』などがある。



指揮：マーティン・イエーツ

Conductor: Martin Yates

20年余りにわたり多彩なジャンルで活躍してきた、英国人指揮者。ピアノ、作曲、指揮を学んだのち、イスラエル・ナショナル・オペラで指揮者としてデビュー。以降、英国内のロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、バーミンガム市立交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー、ハレ管弦楽団などのオーケストラに客演し、ヨーロッパ各地の管弦楽団に招かれている。スウェーデン室内管弦楽団ではマーク＝アンソニー・タネジ「A Prayer Out of Stillness」の世界初演を指揮。また一流の伴奏者としても評価が高く、ホセ・カレーラス、バーバラ・ヘンドリックス、ブリン・ターフェル、モンセラート・カバリエ、ロベルト・アラニーヤ、アンジェラ・ゲオルグ、ヨーヨー・マら世界的に有名な芸術家と共演している。一方ではミュージカル指揮者としても知られており、ウェスト・エンドのミュージカルでヒット作の音楽監督を多数務めている。バレエはイエーツの音楽活動の中心的な位置を占めており、コヴェント・ガーデンのロイヤル・バレエとは、2004年2月にストラヴィンスキー作曲『アゴン』でデビューして以来、これまでに『マノン』『ロメオとジュリエット』『うたかたの恋』『七つの大罪』『白鳥の湖』を指揮したほか、同団のアメリカ、ヨーロッパ公演に同行している。2008/2009シーズンには同団のアジア・ツアーに参加し、また『旅への誘い』『マノン』『七つの大罪』を本拠地での公演で指揮している。ノルウェイ・バレエ団、フィンランド国立バレエにもたびたび客演し、成功を収める。新国立劇場には、12年6月のバレエ『マノン』で初登場した。



Photo : Eric Richmond

ラ・バヤデール

2015.2/17 ~22

レパートリー
Repertoire

La Bayadère

オペラパレス | 4回公演

●前売開始：2014年 11/1 (土)

2015.2/17 (火) 7:00・19 (木) 2:00・21 (土) 2:00・22 (日) 2:00

●料金 S:10,800円 A:8,640円 B:6,480円 C:4,320円 D:3,240円

2000年11月当時、牧阿佐美舞踊芸術監督の改訂振付第1作として新制作された『ラ・バヤデール』は、古典バレエの様式美を存分に堪能できる演出、スピード感あふれるスペクタクルな舞台展開、豪華でオリエンタルな深い色彩の舞台美術によって、既成の版にはない斬新さで、大成功をおさめました。

当プロダクションの特徴は随所にあります。例えば、影の王国での精霊の踊りでは、スロープをゆっくりと舞い降りる精霊たちの姿が圧巻。また、物語の最後では寺院が轟音とともに崩壊し、その廃墟の中をニキヤとソロルが共に天上へと昇って行くシーンも息を呑むような美しさです。なお、この終幕場面の音楽は、バレエ界の名指揮者・名編曲者で知られた故ジョン・ランチベリーが、特別に新国立劇場版のために編曲しています。登場人物が織り成すドラマも『白鳥の湖』や『眠れる森の美女』といった古典作品にない魅力があります。寺院に仕える舞姫ニキヤは清楚で内に秘めた強さを持っています。恋人で王に仕える騎士ソロル、ソロルを慕う王の娘ガムザッティのニキヤとの確執、ニキヤに心を寄せる大僧正など、こうした複雑な人間ドラマを演ずるそれぞれのキャストを楽しみに公演に足を運ぶお客様も多い作品です。

音楽：レオン・ミンクス

Music: Leon Minkus

編曲：ジョン・ランチベリー

Music Arranged by John Lanchbery

振付：マリウス・プティパ

Choreography: Marius Petipa

演出・改訂振付：牧阿佐美

Production: Maki Asami

装置・衣裳：アリスティア・リヴィングストン

Designs: Alistair Livingston

照明：アリスティア・リヴィングストン／磯野睦

Lighting: Alistair Livingston / Isono Mutsumi

指揮：アレクセイ・バクラン

Conductor: Alexei Baklan

管弦楽：東京交響楽団

Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra

ものがたり

インドの寺院に仕える舞姫ニキヤはラジャー（王侯）に仕える若い隊長ソロルと恋仲である。ニキヤに思いを寄せる大僧正はニキヤを手に入れようと機会をうかがっている。一方、ソロルが仕える王の娘ガムザッティはソロルとの結婚を望み、王の命にそむくことが出来ないソロルは心ならずも結婚を承諾してしまう。絶望するニキヤは毒蛇にかまれ、解毒剤を差し出す大僧正の手を振り払って絶命する。後悔の想いの中で夢を見たソロルは夢の中でニキヤと再会して至福のときを過ごすのが、彼が夢から覚めたとき、愛の力か、はたまた神の怒りか、寺院が轟音のなかで崩壊していく……。



2008年公演より

ラ・バヤデール

La Bayadère

指揮: アレクセイ・バクラン

Conductor: Alexei Baklan

1987年、キエフ国立音楽院を卒業後、ウクライナ国立歌劇場にて指揮者を務める。95年、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場首席指揮者に就任。ウクライナ芸術功労活動家の称号を授与される。ウクライナ国立歌劇場では『マーメイド』『コッペリア』『ウィンナー・ワルツ』『海賊』また、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場では『リゴレット』『ロメオとジュリエット』『ラ・バヤデール』『ジゼル』『白鳥の湖』『不死身のカシェイ』(リムスキー=コルサコフ)、『森の詩』(スコルリスキー)などのオペラ、バレエに指揮者・音楽監督として参加。交響曲ではベートーヴェン『交響曲第9番』、ロッシニ『スターバト・マーテル』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』などを手がける。2003、06年にはメキシコで、マリンスキー劇場、ボリショイ劇場、ウクライナ国立歌劇場、アメリカン・バレエ・シアター、ニューヨーク・シティ・バレエ、シュトゥットガルト・バレエなどで活躍する世界のバレエ界のスターたちを集めて行なわれたガラ・コンサート《バレエティッシュモ》で指揮を務めた。06年には4度にわたりザグレブ国立歌劇場に招かれたほか、メキシコシティ国立バレエ団に度々招かれ、『ロメオとジュリエット』などの指揮を務める。また、ウクライナ国立歌劇場のドイツ、フランス、スペイン、スロベニア、ポルトガル、韓国、南アフリカ、メキシコ公演、およびキエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場イギリス公演(05、06、07年)に参加。キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場首席指揮者およびウクライナ国立歌劇場指揮者。新国立劇場バレエ団では08、11年『ラ・バヤデール』、09、10、12年『白鳥の湖』、10、13年『ドン・キホーテ』で指揮を務めている。



演出・改訂振付: 牧阿佐美

Production: Maki Asami

日本バレエ界の草分けの一人、橘秋子の長女として生まれる。4歳で初舞台を踏み、20歳の時に米国に留学、A.ダニロワ、I.シュヴェッツォフに師事。その後、橘バレエ団を基礎に、橘秋子と共に牧阿佐美バレエ団を設立し、プリマ・バレリーナとして数々の作品に主演。昭和35年には、日本で初めて外国人ダンサーを相手役に全幕バレエ『コッペリア』を踊り、絶賛を浴びる。橘秋子の没後はその遺志を継いで舞台を退き、牧阿佐美バレエ団主宰者、橘バレエ学校校長となり、その卓抜した指導力で、日本を代表する舞踊手を数多く世に送り出す。また振付家としても活躍する一方、海外より多数の著名な指導者や振付家を招き、国際共同による質の高い舞台制作を手がけている。ニムラ賞、芸術選奨文部大臣賞、東京新聞舞踊芸術賞、舞踊批評家協会賞、橘秋子賞特別賞を受賞。平成8(1996)年秋には、多年にわたり数多くの作品を振り付け、発表し続けた功績により紫綬褒章を受章。2004年2月フランス政府から芸術文化勲章シュヴァリエを受ける。08年5月には日本人として初めてブノワ賞の審査にあたった。08年に平成20年度の文化功労者に選ばれた。振付家としての主な経歴は、1965年『火の鳥』、67年『眠れる森の美女』をイゴール・シュヴェッツォフと共同振付して主役を踊り、衣裳デザインも自ら手がけて上演した。68年には振付家として本格的にデビューし、黛敏郎作曲『ブガク』、芥川也寸志作曲『トゥリプティーク』、團伊玖磨作曲の『シルクロード』を振付して注目された。最近では95年に『ロメオとジュリエット』、98年に『椿姫』をアザリー・プリセツキーと共同振付して絶賛を浴びた。新国立劇場バレエ団への全幕物の演出・改訂振付第一作目として2000年11月に『ラ・バヤデール』を手掛け好評を博した。第二作目は04年10月に『ライモンダ』全幕改訂振付、この作品で朝日舞台芸術賞を受賞した。第三作目に06年11月に『白鳥の湖』を改訂振付・演出し、高い評価を得た。07年には新国立劇場完全オリジナルの『椿姫』の振付・演出にあたり、第7回朝日舞台芸術賞を受賞。1999年から2010年まで新国立劇場舞踊芸術監督を務め、ワシントン・ケネディーセンター公演(「ジャパン・フェスティバル」参加)とモスクワ・ボリショイ劇場公演『椿姫』の海外公演を大成功に導くなどバレエ団の育成と発展に大きく寄与した。現在、新国立劇場バレエ研修所長。

トリプル・ビル

2015.3/14 ~ 22

テーマとヴァリエーション / ドウエンデ / トロイ・ゲーム 新制作
Company Premier

Triple Bill Theme and Variations / Duende / Troy Game

中劇場 | 5回公演

●前売開始：2014年12/6(土)

2015.3/14(土) 2:00・15(日) 2:00・19(木) 7:00・21日(土) 2:00・22日(日) 2:00

●料金 S:10,800円 A:8,640円 B:6,480円 C:4,320円 D:3,240円

【テーマとヴァリエーション】 Theme and Variations 〈レパートリー〉

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー Music: Pyotr Ilyich Tchaikovsky

振付：ジョージ・バランシン Choreography: George Balanchine

指揮：アレクセイ・バクラン Conductor: Alexei Baklan

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

20世紀アメリカを代表する振付家ジョージ・バランシンが1974年に発表した作品で、ステップや身体の動きでチャイコフスキーの音楽をより細かく表現した華やかで美しい作品です。新国立劇場バレエ団では、2000年の初演以来再演を重ね、アンサンブルの美しさで高い評価を受けており、「見る音楽」と評されるバランシンの振付をご堪能ください。

【ドウエンデ】 Duende 〈レパートリー〉

振付：ナチョ・ドゥアト Choreography: Nacho Duato

音楽：クロード・ドビュッシー Music: Claude Debussy

装置：ウォルター・ノブ Scenery: Walter Nobbe

衣裳：スーザン・ユンガー Costumes: Susan Unger

照明：ニコラス・フィシュテル Lighting: Nicolas Fischtel

スペインのアンダルシア生まれの振付家、ナチョ・ドゥアトによる作品で、新国立劇場バレエ団は、02年に初演しました。「ドウエンデ」とは、スペイン語では「民家に住み、家中を荒らしたり大音響をとどろかせたりする」と言われている想像上の精霊を意味し、スペイン南部アンダルシア地方では「神秘的でいわく言いがたい魅力」を指します。ドゥアトの振付とドビュッシーの音楽が一体となった神秘的で魅力的な作品です。

【トロイ・ゲーム】 Troy Game 〈新制作〉

振付：ロバート・ノース Choreography: Robert North

音楽：ボブ・ダウンス Music: Bob Downes

衣裳：ピーター・ファーマー Costumes: Peter Farmer

男性ダンサーのみによって踊られる、勇猛果敢で力強い動きやユーモアにあふれた作品です。ロンドン・コンテンポラリー・ダンス・シアター (LCDT) の設立メンバーの一人で、バレエ・ランベール、スコティッシュ・バレエ、スウェーデン・ヨーテボリ・バレエの芸術監督などを歴任したロバート・ノースの代表作であり、1974年 LCDT で初演され、ダンス・シアター・ハーレムをはじめ世界の一流バレエ団によって上演されています。



【テーマとヴァリエーション】 2000年公演より



【ドウエンデ】 2002年公演より

トリプル・ビル

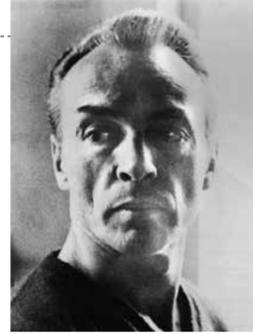
テーマとヴァリエーション／ドゥエンデ／トロイ・ゲーム

Triple Bill Theme and Variations / Duende / Troy Game

振付：ジョージ・バランシン (1904～1983)

Choreography: George Balanchine

1904年、サントペテルブルグ生まれ。帝室バレエ学校に学ぶ。21年にGATOB(現マリンスキー劇場バレエ)に入団、前衛振付家として頭角をあらわす。併行して、ベトログラード音楽院で、音楽理論とピアノを学んだ。24年、同僚ダンサーと巡業中だったパリで、ディアギレフのバレエリュスに入団する。29年に同団が解散するまで、『アポロ』『放蕩息子』など10作を振り付けた。33年に渡米、リンカン・カーズティンなどとニューヨーク・オブ・アメリカン・バレエを開校する。48年に発足したニューヨーク・シティ・バレエを終生の活動拠点とし、アブストラクト・バレエを主体とする、スピード感溢れる清新なスタイルを確立した。アメリカを代表する振付家であるだけでなく、20世紀の最も重要な振付家の一人。83年ニューヨークにて死去。



振付：ナチョ・ドゥアト

Choreography: Nacho Duato

スペインのバレンシア生まれ。18歳の時、ロンドンのランベール・スクールで本格的にバレエを始め、ブリュッセルのベジャール・ムードラ・スクールを経てニューヨークのアルヴィン・エイリー・アメリカン・ダンス・センターで学ぶ。1981年、イリ・キリアンに招かれてネザールランド・ダンスシアターに入団。レパートリーの主要な役を踊り、ダンサーとして87年にゴールデン・ダンスアワードを受賞。ダンサーとして活躍する一方、振付も手がけ、83年の処女作『ジャルディ・タンカート』がケルンでの国際振付家ワークショップで1位を獲得。以後、10以上の作品がカンパニーのレパートリーとなり、88年にはネザールランド・ダンスシアターの専属振付家となる。90年より国立リリコ・バレエ(現スペイン国立ダンスカンパニー)の芸術監督に就任。『コンチェルト・マドリガル』『カミング・トゥギャザー』『ホル・ヴォス・ムエロ』など次々と作品を発表。これまでに、シュツットガルト・バレエ、英国ロイヤルバレエ、アメリカン・バレエ・シアターなど世界の名だたるバレエ団から作品を依頼され、レパートリーに取り入れられている。2000年国際ダンス連盟よりブノワ賞の振付部門最優秀賞を受賞。14年8月にベルリン国立バレエの芸術監督に就任する。06年新国立劇場では、ドゥアトの3作品『ドゥエンデ』『ジャルディ・タンカート』『ホル・ヴォス・ムエロ』をプログラムした「ナチョ・ドゥアトの世界」を上演し高い評価を得た。

振付：ロバート・ノース

Choreography: Robert North

サウスカロライナ生まれ。1966年にロンドン・コンテンポラリー・ダンス・シアター(LCDT)に入団。69年にロンドンに戻る前に、4シーズンにわたってアメリカのマーサ・グラハム・カンパニーで活躍。LCDTでダンサーとして踊る一方で振付を行い、80年にマーサ・グラハム・カンパニーの共同芸術監督となった。79年から81年まで、ロイヤル・バレエ学校でモダンダンスを教える。81年、バレエ・ランベールの芸術監督に就任。86年から90年まで、ヨーロッパやアメリカでフリーランスとして活動、90年にトリノ国立歌劇場の芸術監督に就任。91年から96年までスウェーデンのヨーテボリ・バレエの芸術監督。97年には、イタリア、アレーナ・ディ・ヴェローナ音楽祭バレエのディレクターに任命された。99年から2002年まで、スコティッシュ・バレエの芸術監督を務め、現在はクレールフェルト・バレエのディレクターである。

振付作品としては、『トロイ・ゲーム』『死と乙女』『受胎告知』、全幕バレエ『Elvira Madigan』『ロメオとジュリエット』『Living In America, Prince Rama And The Demons』などを創作している。1997年に全幕バレエ『スノーマン』の振付を行い、この作品は98年12月8日からロンドンのピーコック劇場で毎年上演されている。2002年ロイヤル・アルバート・ホールで上演されたデヴィッド・フリーマン版『カルメン』のためダンスを振り付け、この作品は05年と10年に再演された。



トリプル・ビル

テーマとヴァリエーション／ドゥエンデ／トロイ・ゲーム

Triple Bill Theme and Variations / Duende / Troy Game

指揮：アレクセイ・バ克蘭

Conductor: Alexei Baklan

P16を参照



こうもり

2015.4/21 ~26

レパートリー
Repertoire

La Chauve-souris

オペラパレス | 5回公演

●前売開始：2015年 1/17 (土)

2015.4/21 (火) 7:00・23 (木) 7:00・25 (土) 1:00/6:00・26 (日) 2:00

●料金 S:10,800円 A:8,640円 B:6,480円 C:4,320円 D:3,240円

2002年の初演から再演を重ね、新国立劇場バレエ団のレパートリー作品として定着、ミュージカルやレビューの要素もとり入れた、普段バレエをご覧にならないお客様や男性のお客様にも充分にお楽しみいただけるバレエ作品です。

全編にフランス人のローラン・プティならではのユーモアとチャーミングな踊りに溢れた粋なバレエ作品ですが、それゆえ主役をはじめ主要登場人物を踊るためには、演技力やコケティッシュな大人の魅力、ユーモアのセンスが必要とされます。この作品は、古典バレエ作品の舞台ではあまり見ることのできないダンサーの個性が存分に発揮される作品でもあります。大人の洗練された笑い、洒落な楽しさ等、プティ・バレエの芳醇な香りを新国立劇場でご堪能ください。

音楽：ヨハン・シュトラウスII世

Music: Johann Strauss II

編曲：ダグラス・ガムレイ

Music Arranged by Douglas Gamley

振付：ローラン・プティ

Choreography: Roland Petit

装置：ジャン・ミッシェル・ウィルモット

Scenery: Jean-Michel Wilmotte

衣裳：ルイザ・スピナテッリ

Costumes: Luisa Spinatelli

照明：マリオン・ユーレット / パトリス・ルシュヴァリエ

Lighting: Marion Hewlett / Patrice Lechevallier

指揮：アレッサンドロ・フェラーリ

Conductor: Alessandro Ferrari

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

ものがたり

夜な夜なこうもりの羽をつけて飛び立っていくヨハン。夫の夜遊びに悩むベラは友人のウルリックに相談し、謎の麗人に変装して夫を誘惑する作戦を開始する。夜のカフェで彼女に見惚れたヨハンは、自分の妻とも知らず夢中になり追いかけるうち、騒ぎに巻き込まれて捕らわれの身に。さて、夫妻の愛のゆくえはいかに……。



2012年公演より

こうもり

La Chauve-souris

振付: ローラン・プティ (1924～2011)

Choreography: Roland Petit

パリ生まれ。オペラ座バレエ学校で学んだ後、パリ・オペラ座バレエに入団。当時芸術監督だったセルジュ・リファールらに才能を認められるが、自由な創作の場を求めて20歳の時に退団。ジャン・コクトー、パブロ・ピカソなどの芸術家、知識人と交流しながら『若者と死』(46年)、『カルメン』(49年)などの力作を次々と発表し、一躍時代の寵児となった。50～60年代には映画やミュージック・ホール、テレビの分野に精力を傾け、パリ・オペラ座バレエに振り付けた『ノートルダム・ド・パリ』(65年)以降さらに自由で洗練された表現に結びついていく。72年に国立マルセイユ・バレエの芸術監督に招かれ、『アルルの女』『ブルースト』(74年)、『長靴をはいた猫』(85年)、『マ・バヴロヴァ』(86年)など、多くの新作を発表。ダンサーとしても独自の存在感を発揮。98年に同団を退き、フリーの振付家として、創作・上演指導を続ける。プティが生み出すバレエの魅力はパリっ子らしい軽妙洒脱さ、小粋さにあると言われ、バレエ一筋の経歴ではなくミュージカルやレビューなどを手掛けた経験が自由さや柔軟さを作り出す。01年ポリショイ劇場での『スベードの女王』の制作など世界のバレエ界への多大な貢献に対して、ロシアの最高国家章をフランス人で初めて受章した。2011年7月10日、スイスのジュネーヴで死去。



指揮: アレッサンドロ・フェラーリ

Conductor: Alessandro Ferrari



ミラノ生まれ。ミラノ音楽院でバイオリン、ピアノ、作曲を学ぶ。バイオリン・ソリストとして頭角を現し、スカラ座管弦楽団およびスカラ座フィルハーモニー管弦楽団のバイオリン奏者として活躍した。2011/2012シーズンには、スカラ座バレエ団でバランシン振付のバレエ『ジュエルズ』の指揮を行う。2011年にモスクワのポリショイ劇場で、ポリショイ劇場管弦楽団との共演でバレエ『真夏の夜の夢』の首席指揮者を務めて成功を収め、以降はスカラ座バレエ団との共演が多い。13年はスカラ座バレエ団『ジゼル』を指揮。1996年、マエストロ、チョン・ミョンフンに認められ、キジアーナ音楽院でオーケストラの指揮を研究することとなり、同音楽院では数回のコンサートでキジアーナ音楽院オーケストラ、ソフィア・フェスティバル・オーケストラ双方の指揮を担当。また、ジュゼッペ・シノーポリの指導の下、演奏活動に取り組み、同マエストロによるスカラ座での最後の公演、リヒャルト・シュトラウス『ナクソス島のアリアドネ』(2000年)で補佐を担当。以降、ノヴァーラ・コッチャ歌劇場オーケストラ、フィラルモニア・ヴェネタ管弦楽団、ヴァッレ・ダオスタ交響楽団、ベルガモ・ガエターノ・ドニゼッティ管弦楽団など著名なイタリアのオーケストラを指揮。また、イ・ボメリッジ・ムジカーリ・オーケストラの指揮も担当し、スカラ座室内管弦楽団の首席客演指揮者を務める。さらに、2002年、マエストロ、リッカルド・ムーティにより、スカラ座アカデミー・オーケストラの音楽助監督に指名された。シモン・ポリバル交響楽団(ベネズエラ、2000年)、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団(06年)、東京交響楽団(07年)とも共演している。

白鳥の湖

2015.6/10 ~ 14

レパートリー
Repertoire

Swan Lake

オペラパレス | 5回公演

●前売開始：2015年 2/28 (土)

2015.6/10 (水) 7:00・11 (木) 2:00・13 (土) 2:00/6:30・14 (日) 2:00

●料金 S:10,800円 A:8,640円 B:6,480円 C:4,320円 D:3,240円

古典バレエの中でも絶大な人気を誇る作品。新国立劇場版『白鳥の湖』は、牧阿佐美前芸術監督が2006年に改訂し、格調の高さはそのままに、イギリス人美術家カザレットによる現代的で洗練された色彩感覚が印象的な舞台です。牧版『白鳥の湖』の特徴は、プロローグで物語の発端がわかりやすく描かれることで、作品の物語性が強調されている点や、カットされることの多いルースカヤの踊りが主役級のダンサーの見応えのあるソロによって踊られること、またスピーディなダンスや高度なテクニックが随所に散りばめられている点などが挙げられます。

何度観ても新しい発見があると言われる本作品は、主役ダンサーたちの技術と深い表現力、コール・ド・バレエのアンサンブルの完成度など、バレエ団としての真価が問われる作品です。是非、新国立劇場バレエ団の‘今’をご堪能ください。

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー Music: Pyotr Ilyich Tchaikovsky
振付：マリウス・プティパ/レフ・イワノフ Choreography: Marius Petipa / Lev Ivanov
演出・改訂振付：牧阿佐美 Production: Maki Asami
装置・衣裳：ピーター・カザレット Designs: Peter Cazalet
照明：沢田祐二 Lighting: Sawada Yuji
指揮：未定 Conductor: TBA
管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

ものがたり

とある城の中。オデット姫が、ふと怪しい気配に気づいて振り返ると、悪魔ロートバルトが立っている。ロートバルトはオデットを白鳥の姿に変え、城から連れ去る。

ジークフリード王子の城では、王子の成人を祝って宴が催されている。翌日の舞踏会で妃を選び国を治めるよう母の王妃から諭された王子は、気晴らしに森へ出かける。そこで、魔法によって白鳥に変えられたオデットに出会う。永遠の愛をオデットに誓う王子。しかし、舞踏会でオデットそっくりの美しいオディールに出会い……。



2012年公演より

白鳥の湖

Swan Lake

振付：レフ・イワノフ (1834 ~ 1901)

Choreography: Lev Ivanov

1834年モスクワ生まれの舞踊家、舞踊教師、振付家。モスクワとサンクトペテルブルグで学び、在学中16歳頃から、サンクトペテルブルグ帝室劇場バレエのコール・ド・バレエに加わる。キャラクター・ダンサーとして高い評価を受け、後にプリンシパルに昇格した。85年第二バレエマスターに任命され首席バレエマスターのマリウス・プティパと共に働く。1901年ペテルブルグで死去。



P8を参照

振付：マリウス・プティパ (1818 ~ 1910)

Choreography: Marius Petipa

演出・改訂振付：牧阿佐美

Production: Maki Asami

P16を参照



平成 26 年度公演
〈2 演目 7 公演〉

2014.7
平成 26 年度 新国立劇場
こどものためのバレエ劇場
しらゆき姫

6 回公演 オペラハウス

2015.1
平成 26 年度 新国立劇場
地域招聘公演
樋笠バレエ団

グラスノフ生誕 150 周年記念公演 (仮題)

1 回公演 中劇場

平成 26 年度 新国立劇場 こどものためのバレエ劇場

2014.7/25 ~27

しらゆき姫

Snow White

オペラハウス | 6 回公演

●前売開始：2014 年 4/20 (日)

2014.7/25 (金) 11:30 / 3:00 ・ 26 (土) 11:30 / 3:00 ・ 27 (日) 11:30 / 3:00

●料金 子ども (4 歳から小学 6 年生) : 2,160 円 / 大人 (中学生以上) : 3,240 円

新国立劇場ではご家族みなさまで鑑賞できるバレエ公演として人気の「こどものためのバレエ劇場 しらゆき姫」を 2014 年の夏休み公演として再演します。作品はクラシカル・バレエの魅力に溢れており、初めてバレエをご覧になる子供たちにも楽しんでいただける内容となっています。ストーリーはおとぎ話のかたちで運ばれますが、原作のグリム童話にあるように、人生あるいは人間心理の真実が描かれています。音楽は、J. シュトラウス II 世の作品から選曲されています。

東京公演後には、柏崎市文化会館アルフォーレ、大阪・フェスティバルホール、アルカスSASEBO、サンポートホール高松、びわ湖ホールでの上演を予定しています。

音 楽：ヨハン・シュトラウスII世

監 修：牧 阿佐美

振 付：小倉佐知子

音楽構成：福田一雄

構成・演出：三輪えり花

装置・衣裳：石井みつる

照 明：杉浦弘行

出 演：新国立劇場バレエ団

ものがたり

あるところにしらゆき姫というとても美しい王女がいました。彼女の継母の王妃 (魔女) は、自分が世界で一番美しいと信じており、彼女の持つ魔法の鏡もそう言うってくれるので満足な日々を送っていました。美しく成長したしらゆき姫は隣の国の王子と出会い、二人は恋に落ちます。

ある日王妃が魔法の鏡に「世界で一番美しい女性は？」と聞くと、しらゆき姫だという答えが返ってきて、王妃は怒りのあまり、猟師にしらゆき姫を森に連れて行き、姫を殺すよう命令します。しかし姫を不憫に思った猟師は彼女を殺すことができず、代わりに森の中に置き去りに。姫は、森の中で 7 人のこびとたちと出会います。その頃、王妃が魔法の鏡に「世界で一番美しい女性は？」と聞くと、鏡が「しらゆき姫」と答えたため姫がまだ生きていることがわかってしまいます。王妃は姫を殺そうと何度も試み失敗しますが、毒リングを作り、リング売りに化けて姫に食べさせると姫は倒れてしまいます。姫は死んでしまったと悲しみに暮れたこびとたちは、姫をガラスの棺に入れ毎朝毎晩お祈りをし、3 年の月日が流れます。あるとき、あの隣の国の王子が通りかかり、棺に入った、生きていた時のまま美しいしらゆき姫を自分にくれるようにこびとたちに頼みますが、彼らはそれを断ります。棺の奪いあいとなり、棺の中から姫が転がり落ちてしまいます。その拍子に姫の喉に詰まっていたリンゴのかけらがとれて息を吹き返し、二人はめでたく結ばれます。

榎笠バレエ団 グlazノフ 生誕150周年記念公演 (仮題)

中劇場 | 1回公演

●前売開始：未定

2015.1/11 (日)

●料金 未定

新国立劇場の2015年地域招聘公演は、1975年の設立以来香川県高松市を拠点に、地域のバレエ文化向上を目指し、海外のバレエダンサーを招聘して国際交流公演を上演するなど積極的な活動を行っている榎笠バレエ団を招聘します。

グlazノフ生誕150周年を記念した世界初演作品『グlazノフ・コンチェルト』と、トルコ・サムスン国立劇場の協力による『パッハ・ア・オリエンタル』(日本初演)の2作品を、世界トップクラスのスターダンサーとの競演により、上演する予定です。

芸術総監督：榎笠よ志江

芸術監督：榎笠淳子

出演：榎笠バレエ団

照明：沢田祐二

DANCE

| *Lineup* |

2014/2015シーズン ダンス ラインアップ

〈計4演目15公演〉

2014.8

JAPON dance project

2回公演

2015.1

新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future

～Third Steps～

NBJ Choreographic Group

3回公演

2015.3

ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2015

2回公演

2015.6

森山開次「サーカス」

8回公演

JAPON dance project

2014.8/30 ~ 31

中劇場 | 2回公演

●前売開始：2014年 6/22 (日)

2014.8/30 (土) 5:00・31 (日) 3:00

●料金 S:6,480円 A:5,400円 B:4,320円 C:3,240円

2013年5月、モナコ公国を本拠地として活動をスタートさせた JAPON dance project は、世界の一流バレエ団での実績を持ち、ダンサー／振付家として国際的に活動する5人の日本人アーティストが中心となり、コンテンポラリーダンスに関するリサーチ／コラボレーション／クリエイション／世代間の交流を、日本文化独自の視点から行うプロジェクトです。今回は新国立劇場に結集し、新国立劇場バレエ団のダンサーたちとのコラボレーションも予定されています。

振付・出演：
(JAPON dance projectメイン・メンバー)

遠藤康行 (フランス国立マルセイユ・バレエ)
小池ミモザ (モナコ公国モンテカルロ・バレエ)
青木尚哉
柳本雅寛
児玉北斗 (スウェーデン王立バレエ)

特別出演：
小野絢子 (新国立劇場バレエ団)
八幡頭光 (新国立劇場バレエ団)
米沢唯 (新国立劇場バレエ団)
小尻健太

美術：
針生 康

照明：
足立 恒

主要キャスト・スタッフプロフィール

JAPON dance project

遠藤康行 (フランス国立マルセイユ・バレエ)

Endo Yasuyuki (Ballet National de Marseille)

1991年スターダンサーズ・バレエ団に入団、数々の作品に主演。94年文化庁在外研修員としてオーストラリア・バレエ団に入団。98年村松賞を受賞。99年ベルギー、シャルルロワ・ダンスに所属、同団すべての作品に出演。勅使河原三郎の公演にゲスト出演。2005年フランス国立マルセイユ・バレエ団に入団。ソリスト・ダンサー、リハーサル・ディレクター、そして振付家として数々の自作品を同団のレパートリーとして上演している。また、日本では震災復興支援のため、「オールニッポン・バレエ・ガラ」を立ち上げ、被災地のバレエ支援を行っている。13年欧州文化首都マルセイユのオープニングセレモニーを振付。

www.yasuyukiendo.com



小池ミモザ (モナコ公国モンテカルロ・バレエ)

Koike Mimoza (Les Ballets de Monte-Carlo)

1998年よりフランス国立コンセルヴァトワールで学び、首席にて卒業。2001年スイスのジュネーブ・バレエ入団。03年に振付家ジャン・クリストフ・マイヨ率いるモナコ公国モンテカルロ・バレエに移籍し、05年最年少でソリスト、10年プリンシパルに昇格。豊かな芸術性と抜きん出た技術によって、Sidi Larbi Cherkaoui, Emio Greco, Johan Ingerなどの振付家に選ばれ、ダンサーとして創作にも参加。07年から振付を始め、12年にはモナコで日本をテーマにした新作を発表。10年より、Le Logoscopeの舞台芸術部門のディレクションを担当している。



青木尚哉

Aoki Naoya

青木尚哉は、ジャズ、バレエ、モダンダンスの基礎を学び、さらにボディーワークを加えた自身のメソッドを持つダンサー、教師、振付家。東京でのダンサー活動の後、2004年に設立されたダンスカンパニーNoismの当初のメンバーとして、立ち上げや海外ツアーなどに深く貢献した。退団後も、多くのクリエイターに起用されている。最近では、独自の価値観をもとに、作品制作にも精力的である。

www.aokiny.com



Photo: 平野太呂

JAPON dance project

柳本雅寛

Yanagimoto Masahiro

関西を中心に古典バレエ作品を踊った後、1998年にドイツへ渡る。Staadtheater Braunschweig に二年間在籍の後、2000年に Munchen Dance Theater にソリストとして移籍し、02年まで活動。02年にオランダに拠点を移し Scapino Ballet Rotterdam, 03-04年 Conny Janssen Danst, 04-06年 Galili Dance など多くの舞踊団に所属。多彩な振付家たちとの作品創作に携わり、西欧を中心とした世界各地で踊る。06年に日本へ帰国後、C/Ompany 結成。11年より自身のユニット +81 を結成。



Photo : 大洞博靖

八幡顕光 (新国立劇場バレエ団)

Yahata Akimitsu (The National Ballet of Japan)

東京都出身。石井清子バレエ研究所にて、石井清子、安達悦子に師事する。2003年新国立劇場バレエ研修所に第2期生として入所。05年にコール・ド・バレエで新国立劇場バレエ団に入団。開幕作品『カルミナ・ブラーナ』でデヴィッド・ピントレーにより“神学生2”役で抜擢され、翌06年にはソリストに昇進。08年には、ピントレーによる新作の全幕作品『アラジン』で主役のアラジン役に選ばれ、好評を博した。12年プリンシパルに昇格。第33回ニムラ舞踊賞を受賞。



児玉北斗 (スウェーデン王立バレエ)

Kodama Hokuto (Royal Swedish Ballet)

幼少より両親のもとでバレエを始め、国内外のコンクールで入賞の後、サンフランシスコバレエスクールに留学。2001年よりアルバータバレエ (カナダ)、レ・グランバレエ・カナディアン (カナダ)、ヨーテボリバレエ (スウェーデン) で踊った後、現在スウェーデン王立バレエ団ファースト・ソリスト。Wim Vandekeybus, Mats Ek, Johan Inger など世界的な振付家の作品に初演キャストとして参加。13年にはスウェーデン王立バレエ内のプロジェクト「Royal Collective」を立ち上げ、日本で10年に始まった「project POINT BLANK」では代表として振付、制作もおこなっている。
www.hokutokodama.com



米沢 唯 (新国立劇場バレエ団)

Yonezawa Yui (The National Ballet of Japan)

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオで学ぶ。国内国外の数多くのコンクールに入賞し、2006年に渡米、サンノゼバレエ団に入団した。主な受賞歴は、04年こぶ全国洋舞コンクールクラシックバレエ部門ジュニアの部第1位、全国舞踊コンクールジュニアの部第1位、ヴァルナ国際バレエコンクールジュニアの部第1位、05年世界バレエ&モダンダンスコンクール第3位、06年 USA ジャクソン国際バレエコンクールシニアの部第3位など。10年にソリストとして新国立劇場バレエ団に入団。『白鳥の湖』『くるみ割り人形』『ジゼル』『ドン・キホーテ』、アシュトン『シンデレラ』、ピントレー『バゴダの王子』『シルヴィア』、フォーキン『火の鳥』の主役を務めている。13年プリンシパルに昇格。

小野絢子 (新国立劇場バレエ団)

Ono Ayako (The National Ballet of Japan)

東京都出身。小林紀子、パトリック・アルモン、牧阿佐美に師事。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所 (第3期修了生) を経て、2007年新国立劇場バレエ団ソリストとして入団。入団直後に、ピントレー『アラジン』の主役に抜擢され成功を取めた。『くるみ割り人形』『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』『ラ・バヤデール』、ピントレー『カルミナ・ブラーナ』『バゴダの王子』『シルヴィア』、マクミラン『ロメオとジュリエット』『マノン』、アシュトン『シンデレラ』、プティ『コッペリア』『こもり』、フォーキン『火の鳥』で主役を務めている。10年スワン新人賞を受賞。11年プリンシパルに昇格。平成22年度 (第61回) 芸術選奨文部科学大臣新人賞。第42回舞踊批評家協会新人賞。



小尻健太

Kojiri Kenta

3歳よりクラシックバレエを始める。1999年、ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル・スカラシップ賞受賞をきっかけに渡欧。モナコ公国モンテカルロバレエ団にて研修を経て正団員となる。2003年よりネザール・ダンス・シアター (NDT) に在籍し活躍。イリ・キリアン、マッツ・エック、オハッド・ナハリン、クリスタル・バイトなどヨーロッパのダンス界をリードする振付家の作品を数多く踊る。09年、NDT創立50周年記念公演にてキリアン作品『Mémoires d'Oubliettes』を初演。キリアンスタイルの境地にいるダンサーとの高い評価を得る。

10年、キリアンの退団を理由に NDT を離れ、ダンサー・振付家としてフリーランス活動を始め、Noism1 (金森穰作品)、新国立劇場 (平山素子作品)、出雲大社平成の大遷宮奉祝奉納公演、サドラーズ・ウェルズ劇場 (イリ・キリアン作品、シルヴィ・ギエム『6000 Miles Away』)、オランダダンスフェスティバルなど国内外のプロジェクトに参加。振付作品に、『のちのおもひに』『Inscription』『トキ』『テラスキニ』などがある。昭和音楽大学非常勤講師。

www.kojiri.jp



Photo : Joris Jan Bos

新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2015.1/16～18

～Third Steps～

NBJ Choreographic Group

小劇場 | 3回公演

●前売開始：2014年10/19(日)

2015.1/16(金) 7:00・17(土) 2:00・18(日) 2:00

●料金 A:5,400円 B:3,240円

「Choreographic Group」は、ビントレー舞踊芸術監督の発案・監修のもとに発足した、新国立劇場バレエ団の中から振付家を育てるプロジェクトです。新国立劇場バレエ団がコンテンポラリーダンスに出会う舞台「DANCE to the Future」の関連企画として、今後も続けていきます。

これまでに本プロジェクトから選考された作品が、2012年に「First Steps」、13年「Second Steps」として舞台上演されました。大原永子次期芸術監督の下、本プロジェクトは継承され、その成果はこの「Third Steps」でご覧いただけます。

振付指導：平山素子

振付・出演：新国立劇場バレエ団

主要キャスト・スタッフプロフィール

～Third Steps～ NBJ Choreographic Group

振付指導：平山素子

Hirayama Motoko

ダンサー、振付家。静謐さと昂揚を自在に奏でるダンサーとして観客の熱い支持を集め、近年は振付家としての評価も高い。2006年ポリシヨイ劇場バレエ団にて『Revelation』をS・ザハロワに提供、新国立劇場公演07年『Life Casting 一型取られる生命』で朝日舞台芸術賞、08年『春の祭典』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞を受賞。ソロ活動として、美術家や音楽家との共演により多くのアートフェスティバルで作品を発表するとともに、無重力空間でのダンス実験にも参加するなど、洗練されつつ開拓心を失わないアーティストとして日本のダンスシーンをリードする存在である。筑波大学人間総合科学研究科准教授。

<http://motokohirayama.com/>



Photo : Shintaro Shiratori

ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2015

2015.3/7～8

中劇場 | 2回公演

●前売開始：2014年12/14(日)

2015.3/7(土) 3:00・8(日) 3:00

●料金 S:6,480円 A:5,400円 B:4,320円 C:3,240円

日本独自の創作舞踊のパイオニアたちの作品を復元上演し、日本の洋舞の原点を確認すると共に「今」そして「未来」を展望する企画の第2弾。第一回目の公演は2014年6月に中劇場での上演が予定されています。

この企画は、社団法人現代舞踊協会の協力のもとに実施されます。

上演予定作品・及び初演年・振付家名(順不同)

「マスク」(1923年)	振付:石井 漢	
「機械は生きている」(1948年)	振付:石井 漢	
「スカラ座のまり使い」(1935年)	振付:江口隆哉	
「恐怖の踊り」(1932年)	振付:執行正俊	
「釣り人」(1939年)	振付:檜 健次	
「体(たい)」(1961年)	振付:石井みどり	音楽:イーゴリ・ストラヴィンスキー「春の祭典」

主要キャスト・スタッフプロフィール

ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2015

振付:石井 漢(1886～1962)

Ishii Baku

1886年、秋田県山本郡下岩川村に生まれる。1911年、帝劇歌劇部員第1期生。15年、帝劇を離れる。山田耕筰に勧められて新舞踊の研究を続け、16年、舞踊詩『日記の一頁』『明闇』他を発表。22年、渡欧して欧米の主要都市巡演。肉体とリズムの統合による純粹舞踊を模索する。25年に帰国後、国内巡演に力を注ぎ、戦後は全国展開をする。無音楽舞踊「食欲をそそる」「白い手袋」、ミニマリズム舞踊「山を登る」、大群舞「さまよえる群像」「機械は生きている」他を発表して洋舞界を牽引。著書には『舞踊芸術』『舞踊の基本と創作』他がある。

振付:江口隆哉(1900～1977)

Eguchi Takaya

1900年、青森県上北郡野辺地町に生まれる。29年、高田雅夫・せい子舞踊研究所団員になり初舞台を踏む。31年、宮操子と結婚後ドイツに留学。33年、マリー・ヴィグマン舞踊学校にて学ぶ。同年、ベルリンのバッハザールでリサイタルを開催し『手術室』『タンゴ』を発表。帰国後、江口・宮舞踊研究所を設立。「スカラ座のまり使い」「プロメテの火」「日本の太鼓」など、多彩な作品を発表して洋舞界に旋風を巻き起こす。また確立した舞踊創作理論によって多くの舞踊家を育成し、現代舞踊の礎を築いた。著書には『舞踊創作法』他がある。

振付:執行正俊(1908～1989)

Shigyo Masatoshi

1908年、福岡県大川市に生まれる。東洋音楽学校にてピアノと作曲を学ぶ。在学中にヨーロッパ巡演から帰国した石井漢・小浪の舞踊リサイタルを見て音楽の心と舞踊の心が結ばれた作品を創作する舞踊家になることを決心する。30年に渡欧してバレエ、スペイン舞踊を学び、31年にマリー・ヴィグマン舞踊学校に入学する。32年、ベルリンでリサイタルを開催し、アルヘンティーナに感銘を受けて創作した『恐怖の踊り』他を上演。帰国後スタジオを開設、数多くの公演を開催すると共に多くの舞踊家を輩出した。著書には『華麗なる輪舞』がある。

振付:檜 健次(1908～1983)

Hinoki Kenji

1908年、徳島県撫養に生まれる。29年大阪音楽大学師範科入学、在学中に大阪に舞踊研究所を設立して舞踊活動を始める。32年、上京して、初リサイタルを開催すると共に研究所設立。36年渡米。ルース・セント・デニス舞踊研究所にて交換教授をする傍ら、全米50数か所にて独舞展を行い、『習作 一狂態』『枯蘆』を初演。38年帰朝公演。日本人の踊る日本人の踊りを提唱し『釣り人』『雪の夜語り』『BANBAN』等を発表。その他主要作品には『人間の黄昏十章』『神の座』『原始からの挑戦 呆・嘆・怒』等がある。著書には『舞踊論ノート』がある。

振付:石井みどり(1913～2008)

Ishii Midori

1913年、栃木県宇都宮市日野町に生まれる。29年、石井漢舞踊研究所入所、30年、漢の相手役に抜擢され、アニトラを踊る。35年、自作『涯しなき幻覚』『真紅の薔薇』他発表。36年独立。戦後、車4台で4年間全国縦断公演をするなど地方に力を注いだ活動と国内外での公演を精力的に展開。主要作品には日本の民族舞踊を素材にした『八月踊り』『群上節』、照明と舞台美術の効果を駆使した独自の群舞『打楽器による三章』『体』『ブランデンブルグ・コンチェルト』『魂魄』『夢』他がある。著書に『よく生きるとは、よく動くこと』がある。

森山開次「サーカス」

2015.6/20 ~28

小劇場 | 8回公演

●前売開始：2015年4/18(土)

2015.6/20(土) 3:30・21(日) 11:30/3:30・24(水) 7:00・25(木) 7:00・27(土) 3:30・28(日) 11:30/3:30

●料金 大人 A:5,400円 B:3,240円 子ども A:2,700円 B:1,620円

2011/2012シーズン『曼荼羅の宇宙』で発表した自身のソロのみならず群舞作品も高い評価を受け、第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞した森山開次が、小劇場に「サーカス」の世界をくり広げます。大人も子供も、ご家族で一緒に楽しめるダンス公演です。

東京公演後には、全国公演も予定しています。

〈森山開次のコメント〉

幼い頃、ピエロの踊る姿に憧れた。

永遠の子どもたちの特別な場所がある。

未来の大人たちの秘密の場所がある。

息をひそめて覗き込み、胸をふくらませ飛びこんだ、そこはサーカス。

演出・振付：森山開次

出演：森山開次 ほか

主要キャスト・スタッフプロフィール

森山開次「サーカス」

演出・振付・出演：森山開次

Moriyama Kaiji

21歳でダンスを始め、2001年ソロ作品の発表を開始。05年『KATANA』で「驚異のダンサー」（ニューヨークタイムズ紙）と評され、07年ベネチアビエンナーレ招聘。12年『曼荼羅の宇宙』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞、松山バレエ団顕彰・芸術奨励賞を受賞。演劇・映画・写真作品等幅広い媒体での身体表現に積極的に取り組んでいる。「情熱大陸」「からだであそぼ」等メディア出演も多く、14年公開映画出演予定。平成25年度文化庁文化交流使。



Photo: 石塚定人

BALLET

公演一覧

開場記念公演～2013/2014シーズン

★=新制作

シーズン	公演	振付	改訂振付・演出等	音楽	公演初日
開場記念公演	眠れる森の美女*	M.プティバ	K.セルゲエフ O.ヴィノグラードフ	P.チャイコフスキー	97.10/24
	くるみ割り人形*	L.イワーノフ	V.ワイノーネン G.コームレワ	P.チャイコフスキー	97.12/18
	梵鐘の聲～平家物語より*	石井 潤	石井 潤	石井真木	98.2/1
1998/ 1999	白鳥の湖*	M.プティバ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ N.ドゥジンスカヤ	P.チャイコフスキー	98.5/26
	ジゼル*	J.コラリ/J.ペロー/M.プティバ	K.セルゲエフ N.ドゥジンスカヤ	A.アダン	98.10/28
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	98.12/9
	ドン・キホーテ*	M.プティバ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	99.3/18
	トリプル・ビル				99.6/25
	レ・シルフィード*	M.フォーキン	M.パーク	F.シヨパン	
	踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ*	佐多達枝		W.A.モーツァルト	
	ペトルーシュカ*	M.フォーキン	J.オウドウ	I.ストラヴィンスキー	
	白鳥の湖	M.プティバ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	99.10/7
	シンデレラ*	F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	99.12/4
1999/ 2000	トリプル・ビル				00.2/4
	ラ・バヤデールより“影の王国”*	M.プティバ	牧 阿佐美	L.ミンクス	
	テマとヴァリエーション*	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	
	ペトルーシュカ	M.フォーキン	J.オウドウ	I.ストラヴィンスキー	
	ドン・キホーテ	M.プティバ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	00.3/25
	J・バレエ～ダンス・クレーション～				00.5/19
	悲歌のシンフォニー～第3楽章*	金森 稷		H.グレッツキ	
	十二夜*	石井 潤		G.マイネリオ ほか	
	舞姫*	望月則彦		A.シュニトケ ほか	
	ラ・シルフィード*	A.ブルノンヴィル	P.ニアリー/大原永子	H.ルーヴェンシュキヨル	00.6/29
2000/ 2001	テマとヴァリエーション	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	
	白鳥の湖	M.プティバ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	00.9/5
	ラ・バヤデール*	M.プティバ	牧 阿佐美	L.ミンクス	00.11/17
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	00.12/22
	シンデレラ	F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	01.2/23
	眠れる森の美女	M.プティバ	K.セルゲエフ O.ヴィノグラードフ	P.チャイコフスキー	01.4/26
	トリプル・ビル				01.6/22
	テマとヴァリエーション	G.バランシン	P.ニアリー	P.チャイコフスキー	
	リラの園*	A.チューダー	D.マーラー	E.シヨーソン	
	ライモンダ第3幕*	M.プティバ	牧 阿佐美	A.グラスノフ	
2001/ 2002	ロメオとジュリエット*	K.マクミラン	J.リンコン	S.プロコフィエフ	01.10/12
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	01.12/21
	白鳥の湖	M.プティバ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	02.2/4
	ミックス・プログラム				02.3/16
	レ・シルフィード	M.フォーキン	M.パーク	F.シヨパン	
	四つの最後の歌*	R.V.ダンツイヒ	R.V.ダンツイヒ	R.シュトラウス	
	ドゥエンデ*	N.ドゥアト	T.ファーブル/K.マッカーシー	C.ドビュッシー	
	シンフォニー・イン・C*	G.バランシン	P.ニアリー	G.ビゼー	
	リラの園	A.チューダー	D.マーラー	E.シヨーソン	
	ドン・キホーテ	M.プティバ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	02.5/17
2002/ 2003	ジゼル	J.コラリ/J.ペロー/M.プティバ	K.セルゲエフ	A.アダン	02.6/25
	こうもり*	R.プティ		J.シュトラウスII世(編曲 D.ガムレイ)	02.9/22
	J・バレエ～ダンス・クレーション～				02.11/15
	String(s) piece*	金森 稷		池田亮司	
	Nothing is Distinct*	中島伸欣		管谷昌弘	
	FEELING IS EVERYWHERE*	島崎 徹		J.S.バッハ ほか	
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	02.12/21
	ラ・バヤデール	M.プティバ	牧 阿佐美	L.ミンクス	03.2/21
	白鳥の湖	M.プティバ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	03.5/16
	ラ・シルフィード	A.ブルノンヴィル	S.エルグランド/大原永子	H.ルーヴェンシュキヨル	03.6/27
パキータ*	M.プティバ	M.ヴァン・エフ/L.クナコーフ	L.ミンクス		

シーズン	公演	振付	改訂振付・演出等	音楽	公演初日
2003/ 2004	THE CHIC				03.10/3
	シンフォニー・イン・C	G.バランシン		G.ビゼー	
	ジゼル/こうもり/ラ・バヤデール/ロメオとジュリエットよりパ・ド・ドゥ				
	ジャルディ・タンカート*	N.ドゥアト		M.D.M.ボネ	
	マノン*	K.マクミラン	M.パーカー/P.ルアンヌ	J.マスネ(編曲 L.ルーカス)	03.10/29
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	03.12/12
	こうもり	R.プティ	J.P.アルノー	J.シュトラウスII世(編曲 D.ガムレイ)	03.12/21
ロメオとジュリエット	K.マクミラン	J.リンコン	S.プロコフィエフ	04.4/16	
眠れる森の美女	M.プティバ	K.セルゲエフ O.ヴィノグラードフ	P.チャイコフスキー	04.6/4	
2004/ 2005	ライモンダ*	M.プティバ	牧 阿佐美	A.グラスノフ	04.10/15
	くるみ割り人形	M.プティバ/L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	04.12/17
	白鳥の湖	M.プティバ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	05.1/7
	エメラルド・プロジェクトNo.1 カルメン*	石井 潤		G.ビゼー(編曲 R.パーカー)	05.3/25
	眠れる森の美女	M.プティバ	K.セルゲエフ O.ヴィノグラードフ	P.チャイコフスキー	05.4/29
	ドン・キホーテ	M.プティバ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	05.6/25
	ライモンダ	M.プティバ	牧 阿佐美	A.グラスノフ	05.10/29
2005/ 2006	ライモンダ～第1幕より夢の場	M.プティバ	牧 阿佐美	A.グラスノフ	
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	05.12/16
	白鳥の湖	M.プティバ/L.イワーノフ	K.セルゲエフ	P.チャイコフスキー	06.1/7
	ナチョ・ドゥアトの世界				06.3/23
	ドゥエンデ	N.ドゥアト	K.マッカーシー	C.ドビュッシー	
	ジャルディ・タンカート			M.D.M.ボネ	
	ボル・ヴォス・ムエロ*			15～16世紀スペインの古楽	
	こうもり	R.プティ	L.ボニーノ	J.シュトラウスII世(編曲 D.ガムレイ)	06.5/19
	ジゼル	J.コラリ/J.ペロー/M.プティバ	K.セルゲエフ	A.アダン	06.6/24
	ライモンダ	M.プティバ	牧 阿佐美	A.グラスノフ	06.10/5
白鳥の湖*	M.プティバ/L.イワーノフ	牧 阿佐美 (K.セルゲエフ版による)	P.チャイコフスキー	06.11/12	
シンデレラ	F.アシュトン	W.E.サムス	S.プロコフィエフ	06.12/15	
眠れる森の美女	M.プティバ	K.セルゲエフ O.ヴィノグラードフ	P.チャイコフスキー	07.2/1	
エメラルド・プロジェクトNo.2 オルフェオとエウリディーチェ*	D.ウォルシュ		C.W.グルック (編曲 D.ガルフォース)	07.3/21	
コッペリア*	R.プティ	L.ボニーノ	L.ドリーブ	07.5/13	
ドン・キホーテ	M.プティバ/A.ゴルスキー	A.ファジェーチェフ	L.ミンクス	07.6/28	
2007/ 2008	オペラ・バレエ ガラ公演				07.10/1
	セレナーデ*	G.バランシン		P.チャイコフスキー	
	舞姫*	牧 阿佐美		E.ベルリオーズ	07.11/4
	くるみ割り人形	L.イワーノフ	V.ワイノーネン	P.チャイコフスキー	07.12/19
	ニューイヤール オペラパレスガラ				08.1/5
	アンド・ワルツ*	牧 阿佐美		M.ラヴェル	
	「こうもり」から「グラン・カフェ」	R.プティ		J.シュトラウスII世	
	カルメン	石井 潤		G.ビゼー(編曲 R.パーカー)	08.3/27
	ラ・バヤデール	M.プティバ	牧 阿佐美	L.ミンクス	08.5/18
	白鳥の湖	M.プティバ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	08.6/24
2008/ 2009	アラジン*	D.ビントレー		C.デイヴィス	08.11/15
	シンデレラ	F.アシュトン		S.プロコフィエフ	08.12/20
	ライモンダ	M.プティバ	牧 阿佐美	A.グラスノフ	09.2/10
	Ballet the Chic				09.3/26
	―バランシン/サーブ/ドゥアト―				
	セレナーデ	G.バランシン			
	ボル・ヴォス・ムエロ	N.ドゥアト	K.マッカーシー		
	ブッシュ・カムズ・トゥ・ショヴ*	T.サーブ	E.グド		
	空間の鳥*		井口裕之		
	白鳥の湖	M.プティバ/L.イワーノフ	牧 阿佐美	P.チャイコフスキー	09.5/19
コッペリア	R.プティ	L.ボニーノ	L.ドリーブ	09.6/26	

DANCE

公演一覧

開場記念公演～2013/2014シーズン

シーズン	公演	振付	改訂振付・演出等	音楽	公演初日
2009/ 2010	ドン・キホーテ	M. プティバ/A. ゴルスキー	A. ファジーチェフ	L. ミンクス	09.10/12
	くるみ割り人形*	L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	09.12/20
	白鳥の湖	M. プティバ/L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	10.1/17
	アンナ・カレーニナ*	B. エイフマン		P. チャイコフスキー等	10.3/21
	カルミナ・ブラーナ				
	カルミナ・ブラーナ	D. ビントレー		C. オルフ	10.5/1
	ガランドゥリーズ*	D. ビントレー		W.A. モーツァルト	
椿姫	牧 阿佐美		H. ベルリオーズ	10.6/29	
2010/ 2011	ペンギン・カフェ				10.10/27
	ペンギン・カフェ*	D. ビントレー		S. ジェフス	
	シンフォニー・イン・C	G. バランシン	C. ニアリー	G. ビゼー	
	火の鳥*	M. フォーキン	D. ボナー	I. ストラヴィンスキー	
	シンデレラ	F. アシュトン		S. プロコフィエフ	10.11/27
	ラ・バヤデール	M. プティバ	牧 阿佐美	L. ミンクス	11.1/15
	ダイナミック ダンス! (公演中止)				—
	コンチェルト・パロッド*	G. バランシン	P. ニアリー	J.S. バッハ	
	テイク・ファイヴ*	D. ビントレー		D. ブルーベック/P. デズモンド	
	イン・ジ・アッパー・ルーム*	T. サープ	E. クドー	P. グラス	
アラジン	D. ビントレー		C. デイヴィス	11.5/2	
ロメオとジュリエット	K. マクミラン	D. ケリー	S. プロコフィエフ	11.6/25	
2011/ 2012	バレエ・オープニング・ガラ				11.10/1
	「アラジン」から "序曲"砂漠への旅"財宝の洞窟"	D. ビントレー		C. デイヴィス	
	パ・ド・ドウ集：眠れる森の美女第3幕より グラン・パ・ド・ドウ/ロメオとジュリエット バルコニー・シーン/ドン・キホーテ第3幕より				
	シンフォニー・イン・C 第4楽章	G. バランシン		G. ビゼー	
	パゴダの王子*	D. ビントレー		B. プリテン	11.10/30
	くるみ割り人形	L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	11.12/17
	こもり	R. プティ	L. ボニーノ	J. シュトラウスII世(編曲 D.ガムレイ)	12.2/4
	アンナ・カレーニナ	B. エイフマン		P. チャイコフスキーほか	12.3/16
	白鳥の湖	M. プティバ/L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	12.5/5
	マノン	K. マクミラン		J. マスネ(編曲 M. イェーツ)	12.6/23
2012/ 2013	シルヴィア*	D. ビントレー		L. ドリーブ	12.10/27
	シンデレラ	F. アシュトン	W.E. サムス	S. プロコフィエフ	12.12/15
	ダイナミック ダンス!				13.1/24
	コンチェルト・パロッド*	G. バランシン	D. フーヴァー	J.S. バッハ	
	テイク・ファイヴ*	D. ビントレー		D. ブルーベック/P. デズモンド	
	イン・ジ・アッパー・ルーム*	T. サープ	E. クドー	P. グラス	
	ジゼル	J. コラリ/J. ペロー/M. プティバ	K. セルゲーエフ	A. アダン	13.2/17
	ペンギン・カフェ2013				13.4/28
	シンフォニー・イン・C	G. バランシン	P. ボーズ	G. ビゼー	
	E=mc ² *	D. ビントレー		M. ハインドソン	
ペンギン・カフェ	D. ビントレー		S. ジェフス		
ドン・キホーテ	M. プティバ/A. ゴルスキー	A. ファジーチェフ	L. ミンクス	13.6/22	
2013/ 2014	バレエ・リュス ストラヴィンスキー・イブニング			I. ストラヴィンスキー	13.11/13
	火の鳥	M. フォーキン	D. ボナー		
	アポロ*	G. バランシン	B. ヒューズ		
	結婚*	B. ニジンスカ	C. ニュートン/C. サンダース		
	くるみ割り人形	L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	13.12/17
	白鳥の湖	M. プティバ/L. イワーノフ	牧 阿佐美	P. チャイコフスキー	14.2/15
	シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント				14.3/18
	暗やみから解き放たれて*	J. ラング		O. アルナルズ/N. フラーム J. クレイマー/J. ムトカーフ	
	大フーガ*	H. マーネン	M. ヴェネーマ	L. ベートーヴェン	
	シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント*	G. バランシン	B. ヒューズ	I. ストラヴィンスキー	
	ファスター/カルミナ・ブラーナ	D. ビントレー			14.4/19
	ファスター*			M. ハインドソン	
	カルミナ・ブラーナ			C. オルフ	
	パゴダの王子	D. ビントレー		B. プリテン	14.6/12

シーズン	公演	振付・主演・演奏等	公演初日
開場記念公演	パノラマ展 Aプログラム		97.11/21
	ラプソディ リジェネレーション リゴドン ～死の舞踏	石井かほる 能美健志 庄司 裕	
	マスターワークス		97.12/6
	梟の唄 世界はバッハのように	折田克子 西田 堯	
	パノラマ展 Bプログラム		98.1/7
	春の祭典 カウンターバランス ～現実をみるための空想～ 風市	竹内登志子 米井澄江 藤井 公	
	ダンスプラネットNo.1 コムヘリタキナ	木佐貫邦子	98.4/24
ダンスプラネットNo.2 ありす	中村しんじ	98.9/25	
ダンスアトロンNo.1 凡人 対 美黄		98.11/28	
ゆるやかなさかみち 礼儀正しい隠蔽	厚木凡人 若松美黄		
ダンスアトロンNo.2 FAUST	平林和子	99.2/26	
ダンスプラネットNo.3 エロスの部屋～黒い乳母車～	泉 克芳	99.4/23	
ダンスプラネットNo.4 現実との3分間/非現実との3分間 ～ピアノへのオマージュ～	能美健志	99.9/24	
ダンスアトロンNo.3 神曲	西田 堯	99.11/27	
ダンスプラネットNo.5 ダンスコンサート 舞姫たちの午後			
Aプログラム Sequence of tenses 死と乙女 城壁の空高く、のぼる太陽・しずむ月 Homage 壁ちたる天女	田保和里 軽部裕美 武元賀寿子 菊地純子 本間祥公	振付 二見一幸 振付 能美健志 演奏 斎藤 徹/井野信義 演奏 森田浩平 演奏 杉浦 聡	00.3/10
Bプログラム ff-fortissimo あいだ カッサンドラダンス あなたの肩に頬寄せて 雲の上に草をうえる人 権兵衛が種をまけば...	内田 香 北井千都代 地主律子 児玉敏子 川野眞子 金井美三枝	演奏 馬場高望 振付 中村しんじ 演奏 香川隆樹/持丸 明/原 光弘	00.3/12
ダンスプラネットNo.6 キングリア	上田 遥	演奏 東儀秀樹/王 霄峰	00.6/9
ダンスプラネットNo.7 ピノッキオ	中村しんじ		00.9/22
ダンスアトロンNo.4 Raj Packet -everything but Ravi	勅使川原三郎	演奏 SAND	00.12/16
ダンスアトロンNo.5 Close the door,open your mouth HYPER BALLAD	伊藤キム 山崎広太	音楽監督・演奏 伊藤康英	01.3/10
ダンスプラネットNo.8 エヴァのひみつ	石井かほる		01.6/15
ダンスプラネットNo.9 Signs:Landmark	モリサ・フェンレイ	ピアノ演奏 高橋アキ	01.9/28
Metamorphosis	菊地純子		
ダンスアトロンNo.6 森羅	野坂公夫		01.12/1
空間の詩学	正田千鶴		
ダンスプラネットNo.10 伊藤キム作品集 Me and I / Butterfly and Me / あなた	伊藤キム		02.2/15
ダンスアトロンNo.7 マーサへ ～空のなか 愛がふれあうとき～	アキコ・カンダ		02.6/15

シーズン	公演	振付・主演・演奏等	公演初日	
2002/ 2003	ダンスプラネットNo.11 未来の空隙は響き	構成・演出・美術 小池博史	02.9/20	
	ダンスステアトロンNo.8 Raj Packet II	構成・振付・美術・衣裳・照明 勅使川原三郎 演奏 SAND	02.12/14	
	ダンスプラネットNo.12 DANCE EXHIBITION 2003			
	Aプログラム DOROBO 泥棒 —再生の産声— the edge Figinto 穿たれた眼	石川ふくろう 永谷亜紀 カンパニー・サリア・ニ・セイドウ 振付 セイドウ・ボロ	03.3/14	
	Bプログラム Against Newton ～ニュートンに逆らって 4×4	Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 水と油	03.3/16	
ダンスステアトロンNo.9 EXPECT 東京ダンスホール	木佐貫邦子 中村しんじ	03.6/21		
2003/ 2004	ダンスプラネットNo.13 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後			
	Giselle Espresso 弱法師 ロメオとジュリエットI & II シャコンヌ MAGUMA	軽部裕美 & 島地保武 内田香 & 古賀豊 加賀谷香 & 森山開次 特別出演 津村禮次郎 イ・ユンキョン & リュ・ソクン 平山素子 & 能美健志 蘭このみ & 清水典人	03.9/12	
	ダンスステアトロンNo.10 バレエ・プレルジョカージュ ヘリコプター／春の祭典	アンジュラン・プレルジョカージュ	03.11/7	
	ダンスプラネットNo.14 Against Newton II 騒ぐにはもってこいの日	Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 武元賀寿子 演奏 こまっちゃクレズマ／太田恵資	04.2/13	
	ダンスステアトロンNo.11 Close the door, open your mouth 花の歴史	伊藤キム 伊藤キム 音楽監督・演奏 伊藤康英	04.5/15	
	ダンスプラネットNo.15 DANCE EXHIBITION 2004			
2004/ 2005	Aプログラム Divining 月に歌うクジラ 冷めないうちに召し上げ	リー・ウォーレン & ダンサーズ 川野真子 内田香 Roussewaltz	ピアノ演奏 サイモン・テデスキ 総合演出 中村しんじ 04.9/15	
	Bプログラム LOTUS —花の咲く時季 OKINA Swerve	浅野つかさ 森山開次 リー・ウォーレン&ダンサーズ 特別出演 津村禮次郎 打楽器演奏 バプロ・パーカッソー	04.9/17	
	ダンスステアトロンNo.12 KAZAHANA 風花	勅使川原三郎	05.2/4	
	ダンスプラネットNo.16 移動の法則	水と油	05.2/18	
	ダンスプラネットNo.17 田中 泯 独舞・赤光	田中 泯 演奏 大倉正之助／一噌幸弘	05.6/3	
	ダンスプラネットNo.18 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後			
2005/ 2006	ダリ的リアリズムの薔薇 あやかし Where is my moon? 光芒 ～長き尾を引き流れ星は～ Butterfly noon afternoon	矢作聡子 & 藤田恭子 & 関根えりか & 山中ひさの 花柳せいら & 伊藤拓次 バク・ユースン & キム・ソンヨン 蘭このみ & 清水典人 平山素子 & 中川 賢 マイケル・シューマツハ & アレッシオ・シルベスリン	05.9/16	
	ダンスプラネットNo.19 コラボレートする身体 いぶき～奇蹟の大地 法悦	森山開次 & 宮崎秀人 能美健志 & 高田みどり 打楽器演奏 高田みどり	05.11/25	
	ダンスステアトロンNo.13 バレエ・プレルジョカージュ			
	Aプログラム N	アンジュラン・プレルジョカージュ	06.1/31	
	Bプログラム Les 4 saisons... (四季)	アンジュラン・プレルジョカージュ	06.2/4	
	ダンスプラネットNo.20 きらめく背骨	前田清実 音楽・演奏 金子飛鳥	06.6/16	
	ダンスプラネットNo.21 DANCE EXHIBITION 2006			
	2006/ 2007	Aプログラム 【c-e】 消失にむかう地点の青 Crush さーかす	佐藤美紀 共同演出 鈴木千穂／平多利江 キム・バンソン 川野真子 演出 中村しんじ	06.9/15
		Bプログラム QWERTY 人形 Chopiniana ケース Butterfly no-side	石山雄三 湊斐美子 中野真紀子 新上裕也 平山素子&中川 賢 グー・リャンリャン&高頂	06.9/18
		ダンスステアトロンNo.14 ガラスノ牙	勅使川原三郎	06.12/15
ダンスステアトロンNo.15 如風～inside of wind		野坂公夫／武元賀寿子／内田 香 演出・音楽・演奏 大倉正之助 音楽・演奏 ロバート・ミラバル	07.2/10	
ダンスプラネットNo.22 Life Casting —型取られる生命—		平山素子	07.6/1	
ダンスプラネットNo.23 消息 Substance		勅使川原三郎	07.9/29	
ダンスプラネットNo.24 勅使川原三郎ソロ ミロク		勅使川原三郎	07.12/8	
ダンスプラネットNo.25 ダンス名作展 —10年を振り返って未来への展望—			08.1/18	
Against Newton シャコンヌ Espresso さーかす		岩淵多喜子 平山素子&能美健志 内田 香&古賀 豊 川野真子 ヴァイオリン演奏 末永千湖 演出 中村しんじ	08.2/15	
ダンスプラネットNo.26 未来へ繋ぐトリプル・ビル			08.2/15	
2007/ 2008	受胎告知 Butterfly 曲線(カーブ)した声	アンジュラン・プレルジョカージュ 平山素子&中川 賢 野坂公夫／坂本信子		
	ダンスプラネットNo.27 空気のダンス —デッサンから飛び立った少女少女—	勅使川原三郎	08.4/4	
	ダンスプラネットNo.21 DANCE EXHIBITION 2008 —Dance meets Music—			
	Aプログラム Accumulated Layout (蓄積された配置) “形が” “人が” 語り始めると カッコウ	梅田宏明 二見一幸／ダンスカンパニーカレイドスコープ Co.山田うん ピアノ演奏 クリヤ・マコト	08.9/6	
	Bプログラム REM —The Black Cat バレードの馬 Flush (ほどばしる) ～生き急ぐ時間たち～	川口ゆい 加賀谷香 上島雪夫／UESHIMA theater ヴァイオリン演奏 太田恵資	08.9/13	
	ダンスステアトロンNo.16 古楽とストラヴィンスキー 木佐貫邦子×平山素子		08.11/15	
	キャラバン 春の祭典	木佐貫邦子 平山素子／柳本雅寛 音楽 スカンク ピアノ演奏 土田英介／篠田昌伸		
	ダンスプラネットNo.29 森山開次作品集		09.2/9	
	OKINA 弱法師 花想観 狂ひそうらふ(くろいそうらう)	森山開次／津村禮次郎 音楽 種子田郷 森山開次／加賀谷 香／津村禮次郎 音楽 笠松泰洋 フルート演奏 木の脇道元 森山開次 音楽・パーカッション YAS-KAZ		
	金森 稷 Noism09 ZONE ～陽炎 稲妻 水の月	金森 稷 出演 Noism09	09.6/17	

シーズン	公演	振付・主演・演奏等	公演初日	
2002/ 2003	ダンスプラネットNo.11 未来の空隙は響き	構成・演出・美術 小池博史	02.9/20	
	ダンスステアトロンNo.8 Raj Packet II	構成・振付・美術・衣裳・照明 勅使川原三郎 演奏 SAND	02.12/14	
	ダンスプラネットNo.12 DANCE EXHIBITION 2003			
	Aプログラム DOROBO 泥棒 —再生の産声— the edge Figinto 穿たれた眼	石川ふくろう 永谷亜紀 カンパニー・サリア・ニ・セイドウ 振付 セイドウ・ボロ	03.3/14	
	Bプログラム Against Newton ～ニュートンに逆らって 4×4	Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 水と油	03.3/16	
ダンスステアトロンNo.9 EXPECT 東京ダンスホール	木佐貫邦子 中村しんじ	03.6/21		
2003/ 2004	ダンスプラネットNo.13 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後			
	Giselle Espresso 弱法師 ロメオとジュリエットI & II シャコンヌ MAGUMA	軽部裕美 & 島地保武 内田香 & 古賀豊 加賀谷香 & 森山開次 特別出演 津村禮次郎 イ・ユンキョン & リュ・ソクン 平山素子 & 能美健志 蘭このみ & 清水典人	03.9/12	
	ダンスステアトロンNo.10 バレエ・プレルジョカージュ ヘリコプター／春の祭典	アンジュラン・プレルジョカージュ	03.11/7	
	ダンスプラネットNo.14 Against Newton II 騒ぐにはもってこいの日	Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 武元賀寿子 演奏 こまっちゃクレズマ／太田恵資	04.2/13	
	ダンスステアトロンNo.11 Close the door, open your mouth 花の歴史	伊藤キム 伊藤キム 音楽監督・演奏 伊藤康英	04.5/15	
	ダンスプラネットNo.15 DANCE EXHIBITION 2004			
2004/ 2005	Aプログラム Divining 月に歌うクジラ 冷めないうちに召し上げ	リー・ウォーレン & ダンサーズ 川野真子 内田香 Roussewaltz	ピアノ演奏 サイモン・テデスキ 総合演出 中村しんじ 04.9/15	
	Bプログラム LOTUS —花の咲く時季 OKINA Swerve	浅野つかさ 森山開次 リー・ウォーレン&ダンサーズ 特別出演 津村禮次郎 打楽器演奏 バプロ・パーカッソー	04.9/17	
	ダンスステアトロンNo.12 KAZAHANA 風花	勅使川原三郎	05.2/4	
	ダンスプラネットNo.16 移動の法則	水と油	05.2/18	
	ダンスプラネットNo.17 田中 泯 独舞・赤光	田中 泯 演奏 大倉正之助／一噌幸弘	05.6/3	
	ダンスプラネットNo.18 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後			
2005/ 2006	ダリ的リアリズムの薔薇 あやかし Where is my moon? 光芒 ～長き尾を引き流れ星は～ Butterfly noon afternoon	矢作聡子 & 藤田恭子 & 関根えりか & 山中ひさの 花柳せいら & 伊藤拓次 バク・ユースン & キム・ソンヨン 蘭このみ & 清水典人 平山素子 & 中川 賢 マイケル・シューマツハ & アレッシオ・シルベスリン	05.9/16	
	ダンスプラネットNo.19 コラボレートする身体 いぶき～奇蹟の大地 法悦	森山開次 & 宮崎秀人 能美健志 & 高田みどり 打楽器演奏 高田みどり	05.11/25	
	ダンスステアトロンNo.13 バレエ・プレルジョカージュ			
	Aプログラム N	アンジュラン・プレルジョカージュ	06.1/31	
	Bプログラム Les 4 saisons... (四季)	アンジュラン・プレルジョカージュ	06.2/4	
	ダンスプラネットNo.20 きらめく背骨	前田清実 音楽・演奏 金子飛鳥	06.6/16	
	ダンスプラネットNo.21 DANCE EXHIBITION 2006			
	2006/ 2007	Aプログラム 【c-e】 消失にむかう地点の青 Crush さーかす	佐藤美紀 共同演出 鈴木千穂／平多利江 キム・バンソン 川野真子 演出 中村しんじ	06.9/15
		Bプログラム QWERTY 人形 Chopiniana ケース Butterfly no-side	石山雄三 湊斐美子 中野真紀子 新上裕也 平山素子&中川 賢 グー・リャンリャン&高頂	06.9/18
		ダンスステアトロンNo.14 ガラスノ牙	勅使川原三郎	06.12/15
ダンスステアトロンNo.15 如風～inside of wind		野坂公夫／武元賀寿子／内田 香 演出・音楽・演奏 大倉正之助 音楽・演奏 ロバート・ミラバル	07.2/10	
ダンスプラネットNo.22 Life Casting —型取られる生命—		平山素子	07.6/1	
ダンスプラネットNo.23 消息 Substance		勅使川原三郎	07.9/29	
ダンスプラネットNo.24 勅使川原三郎ソロ ミロク		勅使川原三郎	07.12/8	
ダンスプラネットNo.25 ダンス名作展 —10年を振り返って未来への展望—			08.1/18	
Against Newton シャコンヌ Espresso さーかす		岩淵多喜子 平山素子&能美健志 内田 香&古賀 豊 川野真子 ヴァイオリン演奏 末永千湖 演出 中村しんじ	08.2/15	
ダンスプラネットNo.26 未来へ繋ぐトリプル・ビル			08.2/15	
2007/ 2008	受胎告知 Butterfly 曲線(カーブ)した声	アンジュラン・プレルジョカージュ 平山素子&中川 賢 野坂公夫／坂本信子		
	ダンスプラネットNo.27 空気のダンス —デッサンから飛び立った少女少女—	勅使川原三郎	08.4/4	
	ダンスプラネットNo.21 DANCE EXHIBITION 2008 —Dance meets Music—			
	Aプログラム Accumulated Layout (蓄積された配置) “形が” “人が” 語り始めると カッコウ	梅田宏明 二見一幸／ダンスカンパニーカレイドスコープ Co.山田うん ピアノ演奏 クリヤ・マコト	08.9/6	
	Bプログラム REM —The Black Cat バレードの馬 Flush (ほどばしる) ～生き急ぐ時間たち～	川口ゆい 加賀谷香 上島雪夫／UESHIMA theater ヴァイオリン演奏 太田恵資	08.9/13	
	ダンスステアトロンNo.16 古楽とストラヴィンスキー 木佐貫邦子×平山素子		08.11/15	
	キャラバン 春の祭典	木佐貫邦子 平山素子／柳本雅寛 音楽 スカンク ピアノ演奏 土田英介／篠田昌伸		
	ダンスプラネットNo.29 森山開次作品集		09.2/9	
	OKINA 弱法師 花想観 狂ひそうらふ(くろいそうらう)	森山開次／津村禮次郎 音楽 種子田郷 森山開次／加賀谷 香／津村禮次郎 音楽 笠松泰洋 フルート演奏 木の脇道元 森山開次 音楽・パーカッション YAS-KAZ		
	金森 稷 Noism09 ZONE ～陽炎 稲妻 水の月	金森 稷 出演 Noism09	09.6/17	

シーズン	公演	振付・主演・演奏等	公演初日
2009/ 2010	ダンスアトロンNo.17 勅使川原三郎 鏡と音楽	勅使川原三郎	09.9/25
	ダンスプラネットNo.31 平山素子 Life Casting —型取られる生命—	平山素子 音楽 落合敏行	09.11/5
	ダンスプラネットNo.32 近藤良平 トリプルビル	近藤良平	10.2/5
	ダンスアトロンNo.18 DANCE to the Future	出演 新国立劇場バレエ団	10.5/29
	Wolfgang for Webb THE LAST ERA OF CINDERELLA Snow Lotus —雪蓮華	ドミニク・ウォルシュ 能美健志 井口裕之	
2010/ 2011	ダンスプラネットNo.33 DANCE PLATFORM 2010		
	Aプログラム 果てに… SINSHOKU Improvisation.705117902 Autumn Hunch	原田みのる 池田美佳 菊地尚子 高瀬譜希子	10.10/22
	Bプログラム FAUNE (2008) レトルト —その中の愛と闘争 belle-île イキキル	大岩淑子 山口華子 松崎えり C/Ompany (大植真太郎・柳本雅寛・平原慎太郎)	10.10/29
	ダンスアトロンNo.19 ストラヴィンスキー・イブニング	平山素子 音楽 イーゴリ・ストラヴィンスキー 演奏 崔文洙 (vl.) 松本健司 (cl.) 土田英介 (pf) ピアノ演奏 土田英介/篠田昌伸	10.12/4
	ダンスプラネットNo.34 イデピアン・クルー アレルギー	演出・振付 井手茂太 出演 イデピアン・クルー	10.12/4
	ダンスアトロンNo.20 DANCE to the Future 2011	振付 キミホ・ハルバート 出演 新国立劇場バレエ団 振付 石山雄三 振付 上島雪夫	11.5/28
	Shakespeare THE SONNETS	中村恩恵/首藤康之 音楽 D.P.ハウブリッヒ	11.9/30
2011/ 2012	近松 DANCE 弐題		
	Aプログラム 女殺油地獄	鍵田真由美/佐藤浩希 アルティソレラ 音楽 J.ガルベス	11.11/17
	Bプログラム エゴイズム	加賀谷香 Dance-SHAN 音楽 笠松泰洋	11.11/25
	カラマーゾフの兄弟	小野寺修二 カンパニーデラシネラ	12.2/8
	DANCE to the Future 2012	平山素子 出演 新国立劇場バレエ団	12.4/21
2012/ 2013	Ag+G Butterfly 兵士の物語	共同振付 中川賢 音楽 笠松泰洋、落合敏行 音楽 M.ナイマン、落合敏行 音楽 I.ストラヴィンスキー 演奏 竹中勇人 (vl.) 杉本健司 (cl.) 土田英介 (pf)	
	森山開次「曼茶羅の宇宙」	森山開次 音楽・演奏 高木正勝	12.10/17
	DANCE PLATFORM 2012		
	Aプログラム ユニット・キミホ「Beauties and Beasts」	キミホ・ハルバート ユニット・キミホ	12.11/17
	Bプログラム 高谷史郎(ダムタイプ)「明るい部屋」	高谷史郎	12.12/7
	DANCE to the Future 2013	出演 新国立劇場バレエ団	13.3/26
	solo for 2 The Well-Tempered / Who is "Us" ? / O Solitude フランス印象派ダンス「Trip Triptych」	金森 穰 中村恩恵 平山素子	13.6/7

シーズン	公演	振付・主演・演奏等	公演初日
2013/ 2014	中村恩恵×首藤康之		
	Aプログラム 小さな家 UNE PETITE MAISON	中村恩恵/首藤康之 音楽 D.P.ハウブリッヒ	13.10/4
	Bプログラム Shakespeare THE SONNETS		13.10/9
	DANCE to the Future ~Second Steps~	監修 デヴィッド・ビントレー 振付・出演 新国立劇場バレエ団	13.12/7
	小野寺修二 カンパニーデラシネラ ある女の家	小野寺修二	14.1/23
	ダンス・アーカイヴ in JAPAN —未来への扉— a Door to the Future		14.6/7
	第一部「日本の太鼓」 第二部 小品集 ピチカット 食欲をそそる 白い手袋 母 BANBAN (タンゴ三題) 第三部「春の祭典」	江口隆哉 伊藤道郎 演奏 阿部篤志 (pf.) 石井 漢 今川裕代 (pf.) 石井 漢 加藤訓子 (Prc.) 高田せい子 杉山麻衣子 (vl.) 榎 健次 伊藤道郎 小森 敏 宮 操子 平山素子/柳本雅寛 ピアノ演奏 土田英介/篠田昌伸	

Memo

Memo

Memo
